



兵庫県水泳連盟創立 50 周年
祝賀会に於ける山田先生
向って右は 昭和初期 水泳で活躍された KOBE REGGATA AND
ATHLETIC CLUB のダウン氏である。 S. 56.3.14



S. 56.4.25

村田先輩（昭 53 J）の結婚式で
スピーチをされる新部長の犬堂先生



S.57.5.23
総会風景（吉野副会長 小山会長）



S.57.5.23 総会風景



S.57.6.23

強化合宿終了後

S.57.7.16

水球合宿中の

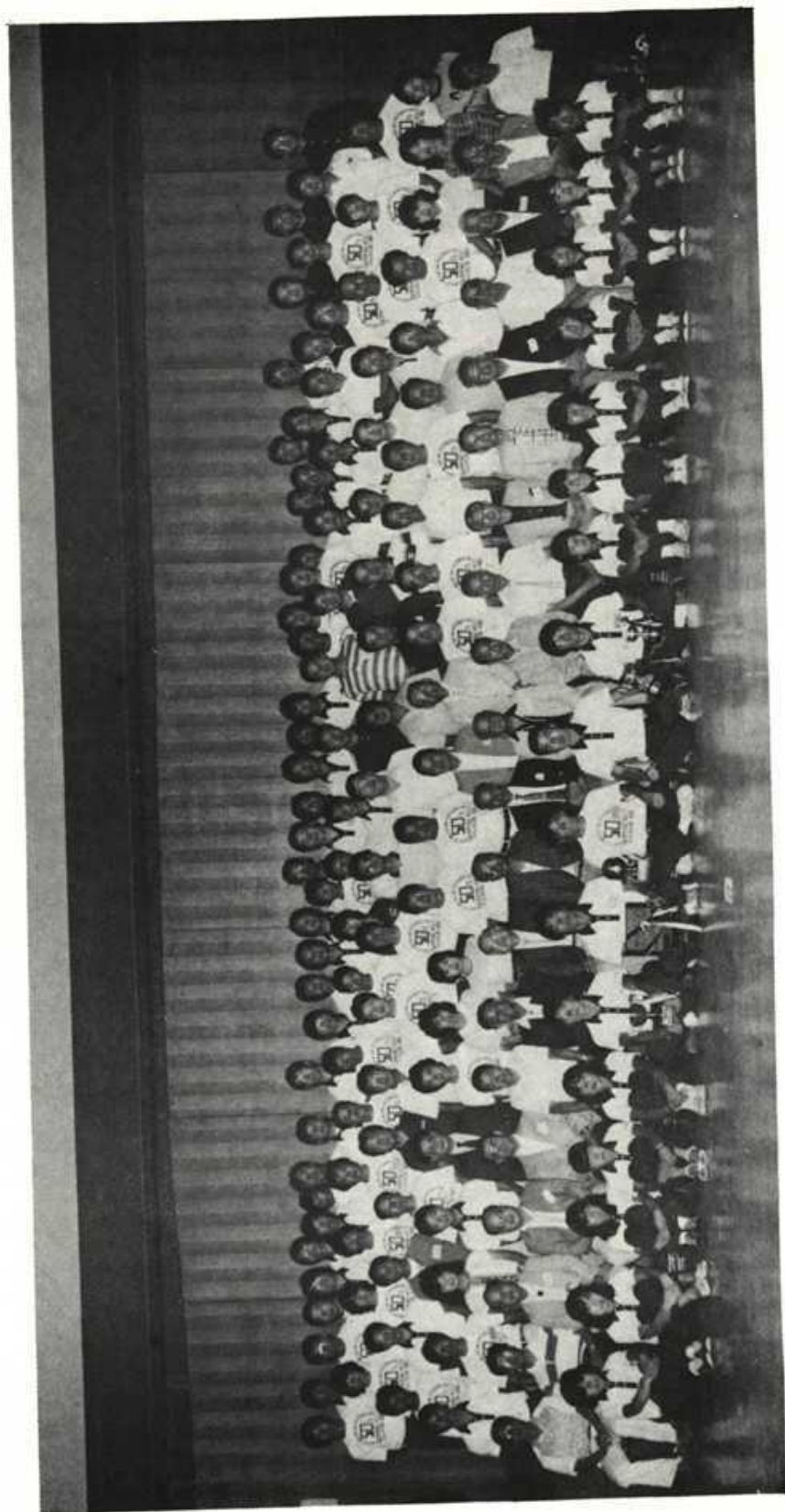
現役部員



S.57.8.13~14

全国国公立大会 2位!

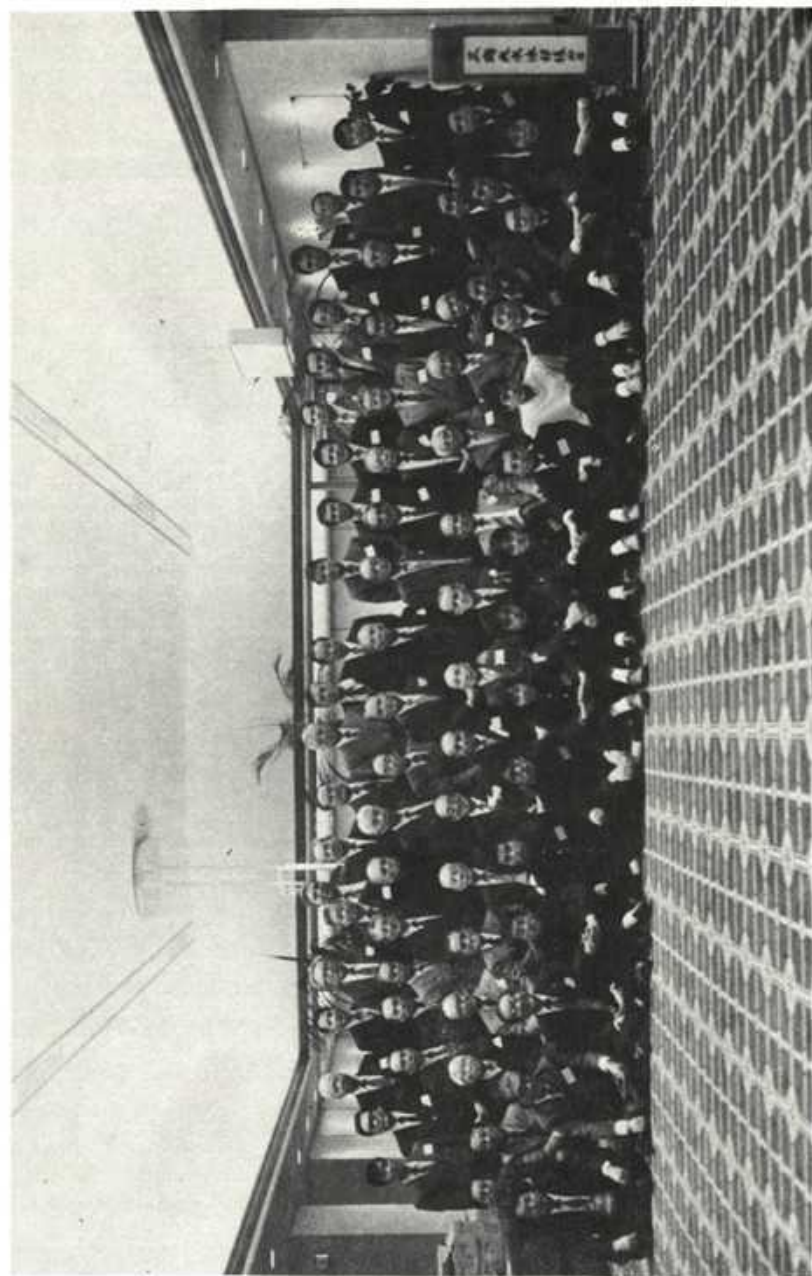
(大阪プールにて)



旧三商大水上競技第50回記念大会 於神戸大学六甲台プール S57.7.24~25



S.58.1.9
初 泳 ぎ (MACスイミングスクールにて)



S . 5 7 . 1 1 . 2 5

旧三商大OBの集い（東京如水館にて）

目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

山田先生ご退官に当って	昭 27 学	石井 義章	2
新部長犬童先生	昭 53 J	村田 邦夫	3
旧三商大水泳部OBの会	昭 7 学	小山賢之助	4
昭和57年度凌泳会報告	昭 27 学	石井 義章	5
水辺雑感 (その1) 日本新記録 (その2) 月見の宴にて	昭 27 学	石井 義章	7
昭和57年度凌泳会東京支部会	昭 38 B	荒井 康之	9
「旧三商大水上競技大会第50回記念大会」後記	昭 47 J	井上与志男	13
全国々公立戦	昭 49 A	佐敷 定雄	14
愛する後輩へ過激なメッセージ	前主将	金 一波	15
旧三商大50回記念大会、OBの集い…雑感	昭 10 B	井上 隆史	16
会員からのお便り			
総会案内状返信より			18
旧三商大大会案内状返信より			23
月見の宴案内状返信より			28
現役部員寄稿			
主将としての提言「現状を打破せよ」	主将	長崎 真人	35
水球のレベルアップのために	副将	吉岡 宏之	36
現役部員紹介			36
昭和57年度活動報告			42
昭和57年度行事報告			62
現役部員自己最高記録一覧			63
歴代十傑表			65
昭和57年度決算報告			70
昭和58年度予算			71
昭和57年度凌泳会費寄付金贈出者御芳名			72
凌泳会会則			74
凌泳会役員名簿			76
凌泳会会員名簿			78
「商神」「応援歌」			102
編集後記			107

山田先生ご退官に当って

昭27学 石 井 義 章

水泳部長山田幸男先生には昭和58年4月1日付を以て定年退官される事になりました。

顧みますれば、昭和29年より実に30年間の永きに亘り、神戸大学水泳部長として、水泳部の指導、発展にご尽力賜りました。

この間、昭和40年代中期の大学紛争時には、プール或は部室を占拠しようとする過激派学生を相手に一步も譲らず、その非を諭し、これをお守り頂いたと聞いております。又42年の浄化装置建設に当りましては、大学当局及び文部省との折衝にご尽力賜り、無事その完成を見る事が出来ましたのも偏に先生のお力に依るものと存じます。

* 先生は旧制浦和高等学校を経て、昭和22年東京帝大法学部を御卒業になり、昭和25年8月、神戸大学法学部に助教として着任されました。そして、前水泳部長古林喜楽先生が昭和28年12月学長に就任されるに当り、学長が特定の運動部の部長をしては公平を欠くとの御配慮から、部長を退かれる事となり、その後任として浦和高校の水泳部で活躍された山田先生に白羽の矢が立った次第です。

その後先生は昭和33年4月に教授に昇格され、更に昭和43年12月より2年間法学部長としての重責を果たされました。

この間、先生には御多忙の中、時間を割いて、三商大戦その他各種競技会は勿論、凌泳会の総会、或は月見の宴にも御出席頂き、吾々と共に飲み、かつ語り、常に温顔を絶やさず物静かな口調でお話されました。

昭和56年3月、兵庫県水泳連盟の創立50周年祝賀会に同席させて頂いた折、先生は「自分も定年まで残す所2年となった。ついでには置土産にプールの改造を考へている。2年間で完成は無理にしても、その構想だけでも固めておきたいと思うが、今の場所で作り直すのがよかろうか、別の場所で50mプールを新設するのがよかろうか。OBは今の場所に愛着を持っているだろうが、あそこでは50mのプールは無理だ。どう思う」と意見を求められました。私は願ってもない話、是非実現して頂き度いと、考へつくままに私の意見を申し述べました。

先生はこの事を非常に気にしておられた様で、この年5月の凌泳会60周年記念全国大会の折にもその具体化について色々話しておられました。

所が57年の春頃でしょうか、お身体の具合が悪いとお聞きしておりました所、夏頃にはお元気になられたとの事なので、一度お伺いに上らねばと思っている矢先、9月初、再度入院されたとお聞きしました。御様子も分らぬまま、気がかりなものですから暮の12月には吉野副会長と二人で病院迄お見舞に上りましたが、奥様にご容態お聞きするだけで帰って参りました。58年3月中旬現在、まだご入院の様子です。

先生お元気ならば、一夕盛大に謝恩パーティでも開き、永年の御指導の御礼を申し上げたいので

すが、それも果せませず、誠に残念です。今は一日も早く先生の御病気が恢復し、そのご全快のお祝と謝恩の宴が開ける日が来ます事を祈るばかりです。

先生永い間、本当に有難う御座いました。ここに紙上を借りて厚く御礼申し上げますと共に、今後共、水泳部、凌泳会共々宜しく御指導の程お願い申し上げます。(58.3.16記)

「新部長紹介」

昭53J 村田 邦夫

これまで長い間、神大水泳部の部長として御指導を頂きました山田先生はこの三月で御退官になります。先生には本当に感謝いたしますとともに一日でも早く御回復されることをお祈りします。

さて山田先生は法学部の教授でしたが先生の後今年度から新たに水泳部長を引き受けて頂くことになりました。犬童一男(いんどり かずお)先生も法学部の教授であります。と言いましても、現役水泳部員並びにOB諸氏におかれましては、どのような先生なのか、はっきりわからないと思われまふ。そこで先生には公私ともどもお世話になっております私とそのプロフィールを御紹介することになった次第であります。

まず簡単に先生の略歴について述べさせていただきますと、先生は昭和8年に熊本県の人吉にお生まれ、九大を御卒業後、東大大学院に進みそこで法学博士号を取得されました。そして、東大助手、神奈川大学助教授を経て51年から神大教授として現在に至っております。御専門は現代イギリス政治・政治史で、特に労働党を中心に研究されています。著書・評論文集も多数あり、現在わが国におけるイギリス政治研究者の第一人者と言えらるでしょう。少々堅苦しい感じになってきましたのでここで話題を変えてみます。趣味について言いますといろいろな方面に興味を示されていますが、特に絵画に関心をお持ちのようです。一月に訪問させて頂いた際にも色彩豊かかつ明るい絵がどの部屋にも飾られていました。又お酒の方は、これは大変強いと思います。何しろ酒を飲んでからも論文が書ける状態なのですから。(私もはやくその境地に達したいのですが。)それからよく飲み屋にも連れて行ってもらいます。それもいわゆる高級スナックといいますが、外見がいいと思われる所ではなく、「高田屋」の雰囲気漂わせる庶民的なお店です。カラオケもやられ、レパートリーは演歌が主です。持ち歌には、〈道づれ〉、〈勘太郎月夜唄〉、〈青葉城恋唄〉、〈星影のワルツ〉などがあります。

それでは最後に先生の人柄について、単刀直入に言いますと浪花節的な性格+バランス感覚+ヒューマニズムを感じさせるお人柄で私事で恐縮しますが、論文指導の際にも厳しさの中にも暖かみをもって接して下さいます。なおまだ語り尽くせないことが多くありますが、これから現役部員の皆さんは折々その人柄に触れられると思いますのでこの辺で犬童先生の御紹介を終らせて頂きます。

編集後記：村田先輩に犬童先生の御紹介文をお願い致しました際にも村田先輩はなかなかお引受

けにならず、御承諾後も、不肖の弟子が師を語ることの愚かさを思うばかりなかなか筆が進まなかったそうで、そのあげく神経性の前立腺障害のため泌尿器科へ行くはめになったとのこと。

旧三商大水泳部OBの会

昭7学 小 山 賢之助

昭和4年に始った東京、大阪、神戸の三商大水泳大会が戦時中の中止が4回あるので、昨57年に神戸の当番で行った競技会が丁度第50回となる。この詳細は別項に譲るが、その時、東京からわざわざ神戸まで応援に来られた一橋水泳部OBの方々と、水友会（一橋水泳部OB会）会長、渡辺文蔵氏（味の素名誉会長、昭和5年卒）、IOC副会長、清川正二氏（同11年卒）とが相談せられ、IOC会議のない11月11日を期して、新装成った如水会館で、旧三商大水泳部OB会を開催することとなった。

当日、一橋側は現役を含めて約50名、神戸側は東京OBの他、神戸から、凌泳会幹事長、石井義章君と現役の新旧主将とが駆けつけてくれて計13名、大阪側はやや少く3名の参加があり、総勢60数名で大パーティが開かれた。型通りの挨拶が色々行われたが、これは省略させて戴いて、一橋水泳部と、水泳の学連、次いで日本水連との関係を略述することとした。水泳のインターカレッジ即ち全国学連が結成されたのは大正11年（第1回インターカレッジは大正10年三笠園で行われた）日本水連の結成はこれよりおくれで大正13年であった。水連結成が学連よりもおくれた理由については諸説あるが、学生と、日本泳法各派とこれに属する水練場の泳手との折り合いがつかなかったということになっている。学連結成当時の加盟校は10校であって、建前は日本全国ということであったが、10校中9校は東京所在で（東京商大は始めからこのメンバーであった）地方所在は松山高高校一校であった。大正13年に日本水連が結成されると学連はこれに加盟し、ここに始めて日本全国の水泳人が打って一丸となった。

旧三商大については、学連とも水連とも関係なく、阪神両高商の対抗戦は大正9年に始まって居り、今日までに60数年、水泳対抗戦の最古の歴史を誇っている。

東京商大対神戸高商の対抗戦は大正14年に始まり、三商大戦となるまでに、4回の競技会を開いているが、4回とも神戸が敗れている。

学連は結成当時から今日まで「リレー」を重視する会則を持っているが、大正の終りから昭和の始めまで、東京商大は二百リレーが強かった。大正15年と昭和2年にはこのチームは、学連、全日本、の二大会で、当時学連の二強といわれた早明に次いで、第三位に入賞している。メンバーは、川口又男氏、渡辺文蔵氏、青木優氏、安部輝太郎氏の四氏で、中学の有名選手の余り入学しない学校としては異色の存在であった。

又水泳の日本選手権は大正14年から始っているが、東京クラブという学連の混成チームが優勝した。そのメンバーの中に川口又男氏の名が見える。当時一橋水泳部は水球のバイオニアの一角を成

しており、水球の洋書を翻訳して出版したことがある。現在神戸は一橋に競泳では大勝するが、ここ数年水球では勝てない。57年にも10対11で惜敗している。一橋水球の伝統に勝てないのであろうか。

こんな関係からか、一橋水泳部OBの学連、水連に対する発言は強く、過去において多くの役員を送り込んでいるが、紙数の都合上残念ながら割愛する。

さて当日出席者は一橋側では前記渡辺氏、清川氏、川口氏を始め、元水連名誉会計大橋国太郎氏はこのためわざわざ札幌より駆せ参じられた。又水連名誉会計を八年も続けられた伊藤謹平氏(昭和19年卒)等かってプールの中で競った仲間が続々と現われた。

凌泳会の出席者の最長老は三井栄三郎氏(高商19回、大正14年卒)で、この方は、如水会員(昭和3年)でもある。尤も氏は一橋では水泳部ではなかった。

大阪側は、前田信夫氏(昭和13年卒)以下3名でやや淋しかった。こういった会はそう度々開かれると思われないが、なるべく各年令層を網羅した会にして行きたいと願っている。

このパーティで当然といえば当然といえるが一橋水泳部OBの物凄い斗志である。何としても三商大で優勝せよと強ハッパがかかっていた。50回のうち25回は神戸が勝っているが、戦前の14回は、東京9、大阪3、神戸3である。「神戸のおのおの方、油断めさるな」というところである。

凌泳会出席者名簿

三井栄三郎(大正14年、高商19回)	井上 隆史(昭和37年、新B10)
草野 嘉一(昭和7年、旧大学第1回)	荒井 康之(" 38年、新B11)
小山賢之助(同 同)	樋口 周平(" 41年、新B14)
太田 正元(昭和13年、 " 7回)	井上 史朗(" 47年、新J18)
山口 宗樹(" 16年、 " 10回)	金 一波(" 57年度、主将)
石井 義章(" 27年、 " 22回)	長崎 真人(" 58年度、主将)
田淵 五郎(" 30年、新B 3)	

昭和57年度凌泳総会報告

昭27学 石 井 義 章

昭和57年度総会は5月23日(日) 六甲台教官食堂に於て、東京よりはるばる御出席の小山会長を始め、多数のOB、並に現役員の出席のもとに開催されました。

さて、議題の内、会計報告、活動状況、役員改選等は例年とさして変りなく、又、総会議事録として概要報告済でありますので、特に議題となりました事項につき、若干解説を加え報告させていただきます。

◎ 準会員について

凌泳会々員は従来より、正会員、特別会員、及び学生会員の三種あり、何れも本学に在籍した者

でありました。所が、ここ数年来、本学以外の学生で、水泳部と行動を共にし、マネージャーとして、練習の記録、計時を担当したり、合宿にも参加してその運営を助ける等、全く水泳部に溶け込んで活動する人が出て来ました。これらの人達を、卒業と同時に無縁の人としてしまふにしのびず、又在学中の労に報いる意味からも、何らかの形で水泳部との繋がりを残したいとの学生部員からの要望あり、これらの人を收容する為、新たに準会員の制度を設けた次第です。

古いOBの方々には理解しにくいかとも思いますが、これも時代の変化であり、又、プールに来てそれらの人々の様子を見て頂ければ納得頂けるのではないかと思います。

◎ 退会者の取扱について

凌泳会も会員数300人近くにもなりますと色々考へ方の異なる人がありますのは当然で、凌泳会に対する関心度も自ら濃淡あり、中には何のメリットもないのに毎年会費を払わされる事に疑問を抱き、退会の意志を漏らされる方も出て参りました。所が従来の会則では退会の取扱規定がなかった為、勝手に名簿から抹消する事も出来ず、といて、名簿に残っている以上、一律に会費の請求が行き、中には学生が集金に伺うと「俺は退会すると云っておいたのに、まだ来るのか!! 凌泳会はしつこいぞ!!」とお叱りを受けた事もある様です。そこで、本人が明かに退会の意志を表明された方は、名簿から削除する事にしました。しかし只、単に削除しただけでは、その間の事情を知らない方から、“俺の同期の〇〇が名簿から漏れてるぞ、入れておく様に”という様な事で又復活し、会費の請求が行って、又お叱りを受けると云う様な事になりかねません。

そこで、そんな事にならない様、退会された事を明確にする為、名簿の最後に退会者欄を設ける事にしました。それ以外特に他意は御座いません、誤解なき様、宣敷く御諒解願います。

尚、退会された方でも将来、再入会を希望される方は、その旨お申し出下さい。入会金など要せず、喜んでお受け致します。

◎ 「凌泳」誌発送停止について

従来会費支払の有無に関係なく、全会員に「凌泳」お送りしておりましたが、次第にその製作費も昂騰し、一部約1,200円郵送料等を加えますと1,500円近くかかります。

つきましては、経費節減の為、会費を3年以上納められなかった方には「凌泳」の発送を停止する事と致しました。

申すまでもなく、「凌泳」はOB相互間並に現役水泳部員とを継ぐ唯一の機関誌です。又、神大運動部数多しと雖も、これだけ充実した機関誌を、しかも30年の永きに亘って継続発行している部は他に類を見ません。

今後益々「凌泳」が立派なものになり皆様へ愛読される物となります様、ご協力をお願い致しますと共に、その送付を停止されぬ様、会費の支払の方もお忘れなくお願い申し上げます。

以上

水 辺 雑 感

昭27学 石 井 義 章

(その1) 日本新記録

4月18日神戸かるもプールに、昭和57年度兵庫県室内選手権を見に行つた。吾が神大水泳部も出場しているので、その応援もあったが、同時に前田修君(昭34)のお嬢さん(中学3年)が招待選手として出場、日本新記録を狙うと聞いたのでどんな泳ぎをするのかそれも見たいと思った。

午前中所用あり、1時頃プールに着くと、50米背泳は既に終り、前田嬢はこれに30秒6の短水路日本新を出したとの事。惜しい事をしたと思ったが、まだ100米が残っているのでこれを楽しみに待つ事とする。

この種の競技会を見るのは久しぶりだが、狭い室内プールの周囲に選手或は応援の父兄等立錫の余地もなく詰めかけている。それにジュニア水泳ブームを反映してか、出場選手の多い事。予選、決勝なんてな事やっている間がないらしく、タイムレースで流れ作業的にプログラムが進行して行く。吾が橋本力君(昭30)も兵水連役員として忙しそうに走りまわっている。

水泳の競技会といえば、スピーカーで競技種目、出場選手の名前、コース順、等を紹介し、終れば着順、タイム等がアナウンスされるものと思っていたが、そんなものは一切なく、只管進行して行くのである。プログラムと首っぴきでよほど注意していないと、今何の競技が行はれているのか分からなくなってしまふ。とにかく前田嬢の出場する女子ジュニア(14才以下)100米背泳は見落すまいと目をこらす。

やがてそれらしい組がスタート台上った。号砲一発一斉にスタート!! 背泳のスタートはすぐ水面に浮上って来るものと思っていたが、前田嬢は仲々出て来ない。15米位の所でやっと水面に現れた。この時既に他の泳者を一身長程引離している。後で聞いた話だがこのスタートをその発案者の名を取ってバサロ、スタートと云うそうだ。丁度ドルフィンキックを使って水中を裏返えして潜航する格好。ふと鳥賊の泳ぎを連想する。そして泳法も変化するものだと頻りに感心する。前田嬢はその後もグングン差を拡げ2位を20米近くも引離してゴールイン。何とかアナウンスがあるかと期待したが、前述の通り只黙々と進行するのみ、全く愛想なしだ。タイムが気になるので前田君を探して聞きに行く。「やりました!! 遂にやりました!! 日本新です。1分5秒0です!!」と踊り上らんばかりの喜び様。やがて御本人も着替えて上って来たので、お目出とうを云ったが、極くしとやかな普通の女の子、この子のどこにあんな馬力が秘められているのか、全く信じられない気がする。昭和7年清川さんがロスアンゼルス、オリンピックで優勝されたのが、1分8秒6。吾が神大歴代ベストタイムが杉山君の1分7秒7。この日の男子シニアの優勝が1分7秒5。何れも彼女に及ばない訳だ。云う迄もなく、日本新記録とは、神武この方日本女性として背泳で一番早く泳いだと云う事だからやはり大変な事だ。しかもまだ中学3年のあどけない少女、これから先が益々楽しみになる。

今迄も古橋、橋爪その他、日本新、或は世界新のレースも何度か見たが、吾が凌泳仲間の子が

出したとなると感慨は又一味違って来る。彼女自身まだずっと小さい頃に、六甲台のプールに来て泳いだ事もあり、当時御健在だった古林先生が頭をなでながら「いい子だ、いい子だ、この子は凌泳会の準メンバーだな」と云われた事がある。やはり「水は空気よりも濃い」と云うべきか。

因に、吾が国の水泳史を繙くと女子百背泳の日本記録の最初に入江広子氏の名が見える（大正11年、12年、13年）この方は吾が凌泳会の長老、白山源三郎先輩の奥様になられた方と聞く。奇しくも日本記録の最古と最新の保持者に凌泳会ゆかりの方の名が並ぶ訳で、これも何かの因縁と思われる。

吾々の間にこんな子が居る事を御存知ない方もあろうかと思ひ、御紹介した次第、今後の彼女の活躍を御声援願ひ度い。その名前は「前田琴」である。

尚、その後の戦績下記の通り。

◎インダストリーヒルズ国際招待水泳大会

100背	優勝	1'05"24	(日本新)	57. 8. 8
200背	優勝	2'18"03		57. 8. 6

◎全日本選手権水泳競技大会

100背	優勝	1'05"34	(日本新)	57. 8. 31
200背	優勝	2'20"22	(中学新)	57. 8. 29

◎アジャ大会

100背	3位	1'08"24		57. 11. 27
200背	4位	2'27"99		57. 11. 23

以 上

(その2) 月見の宴にて

今年も恒例の月見の宴が9月15日、六甲台プールサイドで開かれた。案内状は2時からであったが、聞いてみるとこの時間からOB、現役対抗の水球戦を予定しているとの事。まかりまちがって、そんなものに引張り出されたら、いくら青年を自負する吾輩でも心臓に変調を来すと恐れをなし、30分程時間をズラしてプールに到着。尤その心配は杞憂であった。OBと云っても、ここ2~3年の卒業生に現役の四回生が加ってチームを作った。

この水球戦が終って、宴会の準備が出来るまでしばらく時間があると云うので、水着に着替えプールに入る。水温は22~3度か、入ってしまえばさして冷たさも感じない。吉野副会長(昭15)もお年を感じさせない元気で泳いでおられる。久し振りに母校のプールで学生時代に戻った気分になり肌に流れる水の感触を楽しみながらゆっくり2、3往復しプールサイドに上る。とそこへ姫路の山口君(昭32)が競泳しようとい出した。この男、知る人ぞ知る、今金時と異名をとるタフガイ、思わずタジタジとしていると、「やりましょう、やりましょう」と寄って来たのが橋本君(昭30)、これ又現役の高校の先生で、まして水泳部の顧問をしているとか。50になろうと云うのに未だにどこか少年の面影さえ漂わせる万年青年。しかし、ここで2人に挑戦を受けて後を見せては沽券にかかわると受けて立つ。吉野先輩にスターターをお願いし、飛込む。必死に頑張っていると20

米あたりで人の頭の上を横切って行くやつが居る。私の右側からスタートした橋本君が左へカーブして更に左の山口君のコースに迄入ってしまったのだ。水球の後にコースロープが無いとはいへあまりにひどいコース侵害で失格。それならロープがなくても真っ直ぐ泳げる平泳でやり直そうと再度スタート。25米と雖もやはり力泳するところである。若い者相手に無理する事はないと思っ
ていても、そこは条件反射と云うものか、隣に相手が居てセリ合うついでに入ってしまう。結果は吉野審判長の言に依れば、年齢順に僅差と云う名判定、タイムは云はぬが花。

そうこうしている内に宴会の準備も出来た。部室の前には今年の輝かしい戦績が一覧表にして貼出してある。やたら優勝と云う字が並んでいる。その前には、それを裏付けるカップ、トロフィー類がずらりと並んでいる。中でも全日本国公立戦準優勝が一際燦然と輝いている。金主将以下部員全員の努力の結晶である。この輝かしい戦績を祝し、おでん、ビールも例年になく盛り沢山である。

OBの挨拶、現役の戦績報告、自己紹介とスケジュールが進むに従い次第にアルコールも回り、やがて歌も飛出して月見の宴のムードは増々盛上って行った。唯一つ残念だった事は水泳部長の山田先生がお身体の不調で出席頂けなかった事である。この戦績を見て頂ければどんなにお喜び頂けた事だろう。先生の御本復の一日も早からん事を祈るばかりである。

「月見の宴」とは何時頃、誰が始めたのか知らないが、シーズンを終って、その年の戦績を振り返り、OB、現役一体となって酒を酌み交わす。実に水泳部ならではの楽しい行事である。阪神間の会員は申すに及ばず、それ以外の方も来年は多数御参集頂き度い。以上

昭和57年度凌泳会東京支部会

昭38B 荒井康之

57年度凌泳会東京支部会が、初夏の風さわやかな5月25日、有楽町の「東天紅」にて開催されました。小山会長、山口支部長はじめ、今回より東京支部会員となられた村岡(B8)、原(B8)両氏を加え、28名の方々が集り盛会となりました。

会長、支部長の挨拶、草野先輩(学1)の乾杯で会が始り、会長の現役選手の状況報告で、「百米で1分2~3秒のものが十数人いる。」との話で、一時、座が静まりかえる場面もありましたが、ショックから立ち直った後は、近況や現役時代の話に花が咲き、楽しい2時間を過ごしました。

今回の支部会の議題でありました「三商大戦50回記念大会」のための各種カップ寄贈については、会場に並べられた見本を前に多数のご意見をいただきましたが、金額、デザインともに支部会幹部一任ということになりました。

東京支部会も年々盛んになりますが、58年は、是非、新卒会員を迎えたいと熱望しております。終りになりましたが、本会の開催・運営にご尽力いただきました、井上隆史(B10)、井上史明(B18)両氏に感謝いたしますと共に、当日参加の方全員に寄せ書きをいただきましたのでご紹介いたします。

(学1 小山賢之助)

現役大正海上を引いて16年、関連会社、社史編纂と10年同社の御厄介になり、今は別に診断試薬の会社の監査役をしています。ゴルフは下手ですが、青梅ゴルフの常務理事をしています。

(学1 草野 嘉一)

兼松江商を卒業、ボランティア活動として日本サラリーマン・ユニオンの理事として、サラリーマンの生活向上運動をやっております。

(学3 宮本 伯夫)

川鉄コンテナ相談役は6月で辞任、川鉄顧問として残りますが、もう会社には6月以降は出ません。今後は、ゴルフと囲碁と麻雀をやって楽しく暮して行きたいと思っています。なお、千葉大学文学部史学科に聴講生として日本歴史を勉強しております。体が元気ですから、ヘパル迄楽しく行って行きたいと思っています。今年の現役のものすごいスピードの話聞いて驚いています。皆様のご健闘を祈っています。

(学10 山口 宗樹)

久しぶりで東京の凌泳会、皆元気で集い、愉快に思い出に花を咲かせ、現役の勢いに鼻を高くしています。本日欠席の方も、次回は是非、顔を見せて下さい。

(学13 冨中 暁)

相変わらずヘルス・クラブで、サウナと水泳を続けています。今日も行ってきたその足で皆様と共に飲むビールの味はまた格別という訳です。更に多くの方々の参加を得て、凌泳会益々の盛会を祈ります。

(新1 関山 道雄)

元気ががんばっていますが、水泳とはトンと関係がなくなりました。年に一回か二回、海水浴、それも水際でパチャパチャする程度です。皆様に久しぶりに会えて、心から喜んでいます。

(新3 田淵 五郎)

今年はたまたま新入会員が東京には来られませんでした。凌泳会も東京支部の方が盛んになる勢いで何よりと存じます。三商大も50回と聞くと、又そろ我々も中年になった事と思知らされませぬ。

(新3 神原 修造)

久しぶりに総会に出席し、諸先輩の顔を拝見しなつかしく思います。三商大も50回となり、現

役時代を思い出します。

(新3 村田 邦夫)

卒業して26年目に凌泳会に参加し、お互いの年令を確かめあい、しばらくしてプールサイドで話していた時の気分が戻ってくるのは不思議な気がします。

(新4 冨岡 道雄)

昨年までは愚息が水泳部現役で、皆様にお世話になりました。今年は三商大50周年とのこと、是非盛大な大会になるよう先輩の皆様方と共に努力させていただきたいと思っています。東京に単身赴任で、毎夜サントリービールばかり飲み過ぎてはありますが、たまには休日に中野のスイミングクラブ(TAC)でポチャポチャと泳いでいます。部員の皆様のご健闘をお祈りします。

(新6 細田 忠雄)

本日の総会は総勢30数名とか。私が東京に来てから始めての大人数。20数年振りにお逢いする先輩、後輩。顔と名前が一致せず皆ウロウロ。現在宴たけなわ。面白くなりそうな予感。

(新6 岡見 晴児)

今年限りで歴代十傑から消えると思うと一抹の寂しさを感じます。しかしながらこれもやむなし。現役諸君のますますの力泳を期待します。

(新7 山本 哲弘)

学生時代に水泳部で泳いでいて良かったと最近よく思います。社会人の運動不足を補う為、海外(ニューヨーク)でもよく子供を連れて泳ぎに行き、東京でも暇があればプールで泳いでいます。久しぶりに諸先輩に出会って本当にうれしかった。

(新8 村岡 英樹)

六甲台プール。たったそれだけの学生生活だが、だから私は忘れない。

(新8 原 謙三)

本日、初めて東京凌泳会に出席させていただきました。小山会長はじめ諸先輩にお会いでき、非常に嬉しく存じます。今後ともよろしく。

(新8 上村 久治)

しばらく泳いでいませんが、大阪プールは暖かかったとか、小平はつめたかったとか話に花が咲き、連休のあとの初泳ぎの時の六甲台プールの水のつめたさを思い出してなつかしく思いました。

(新10 井上 隆史)

有友来遠方、亦不可染。

(酒を飲んだので違っていればご訂正願度。)

(新11 丸山 卓也)

今日迄の水泳生活をこれからも続けて水泳部スピリットでやっております。

(新11 荒井 康之)

久し振りに諸先輩方のお元気なご様子を目のあたりにし、人生に一層のファイトを感じました。
女子部員、万歳!!

(新12 武政 英幸)

昨23日に同期の鈴木正弥君とゴルフを楽しみ、ドラコンは皆とられ、ニアピンは皆いただき、力と技で争いました。(鈴木正弥氏は5月末に住友商事ニューヨークへ転勤)

(新12 滝沢 章三)

前記のように、鈴木君ニューヨークへ、また武政君関西へ転勤の由、関東在住の同期は一人となりそうです。新12回の東京代表としてよろしく願ひいたします。

(新14 樋口 周平)

卒業して十余年、そろそろ年を感じております。しかし諸先輩の御顔を見ていると、まだまだ若いなとも思っております。頑張らなくっちゃ!!

(新15 阿部 洋三)

しつこくベストを追い求めていまだに泳いでいます。水泳は若い方が良いが、別に若くなくても良い。要するに年には関係ないと思われれます。今年もベストを夢みて!

(新18 井上 史朗)

初めて東京へ出て来ました。現在長野県の担当セールスです。長野県に遊びに来られる時はぜひご一報を!

(新19 岩切 博)

東京へ来て10年間、水泳からほとんど離れてしまいました。昔水泳をやった者として何とか復活いたしたく思っています。OBで場を作ってはどうでしょうか。

(新24 熊岡 禎二)

今年7月から、タイに転勤になります。2年程ご無沙汰いたします。

(新24 細谷 明夫)

最近水泳を離れ、昼休みのキャッチボールで毎日をすごしております。スポーツというのは、お金と違って貯金することが出来ません。つまりやりつづけることに意味があるように感じております。

(新25 丸末 一之)

久しぶりで大先輩方にお会いし、楽しい時をすごさせていただきました。我々若い会員の出席が少いのが残念です。

『旧三商大水上競技大会第50回記念大会』後記

昭47 J 井 上 与 志 男

7月24日、折からの台風17号の影響により降りしきる雨の中、我等が神戸大学の六甲台プールにおいて、旧三商大水上競技大会第50回記念大会は、神戸大、一橋大、大阪市大の三校の現役学生60余名、見守る三大学のOB50余名が集まり、開催されました。

第1日目、開会式。吉野栄審判長(凌泳会副会長)の開会宣言に続いて、神戸大学金主将の力強い選手宣誓が行なわれ、1日目の水球の部の試合が開始されました。

第1試合、神戸—一橋(事実上の決勝戦)。第3クォーター終了時点で神戸6点、一橋7点と1点を争う好試合。「神大ガンバレ!」の声援が周囲を圧倒し、プールサイドでは試合開始時点から雨にくっしょりと濡れた応援団が、うら若き女子学生のチアガール共々、声をからし、太鼓を打ち鳴らして応援をする中でいよいよ第4クォーター。1点とれば又返し、文字通り一進一退。しかし、最後には実力に勝る一橋大が1点差で逃げ切り勝ち。残る市大戦にも大楽勝し、「ポロの一橋」の名に恥じぬ見事な戦いぶりでありました。

我等が神戸大は、誠に残念! 来年の雪辱を心に期し、そのうっぶんを対市大戦ではらし一勝一敗で二位となりました。(市大の方々よ、もう少し強くなって下さい。)

大会第2日目、競泳の部(一日中、雨)。今年グンとレベルアップの神大は各種目で着々と加点し、次々と大会記録を塗り変えて、終ってみれば2位の一橋大を大きく離す、ぶっちぎりの優勝で、昨日の悔しい水球の負けを吹き飛ばす総合優勝で、50回大会を終えたのでありました。

続いて場所を学生会館の6階大ホールに移し、閉会式及び記念パーティーが盛大に行なわれました。あの広い大ホールも130名余りの若人(昔の若人も含め)で埋め尽くされ、会場は熱気がムンムン。山口宗樹凌泳会副会長の開会の辞に続き、大会会長の小山賢之助凌泳会会長が、御自身の若

かりし頃の三商大戦の思い出を身振り手振りで話され、うなづく者、感心する者あるうちに、続いて、兵庫県水泳連盟会長の吹田大輔氏より来賓の挨拶を頂き、いよいよ雰囲気も盛り上がる中、成績発表、そして新旧織り交ぜた各種カップの授与となり、総合優勝の美しき杯は我等が神大へ、又かの「清川杯」も神大の吉田君の手に渡り、水球のカップは一橋へ、800m自由型の「古林杯」は大市大の青木君にそれぞれ、小山会長から手渡され、皆が緊張と感激の面持てありました。

大市大OBの岩橋襄氏の音頭で乾杯、一橋大OBの一森昭氏のスピーチ等で宴もたけなわとなり、騒然とした中にも楽しさが各テーブルに拡がり、石井義章凌泳会幹事長の閉会の辞をもって楽しき会に幕が降りたのであります。

記念Tシャツの売れ行きも良く、現役学生諸君、又企画から色々な世話まで頂いた諸先輩の方々本当に御苦労様でした。有難うございました。

全国国公立戦

昭49A 佐 敷 定 雄

昭和57年8月13日、14日の2日間、今シーズン最大の目標であったBig Baseである全国々公立戦が、大阪プールで行なわれた。関西国公立の覇者である神大水泳部の意気込みは、相当のものであった。

各種目とも個人メドレー・兼泳以外では、小刻みに得点を稼ぎ、筑波大学には敗れはしたものの、広島大学と大接戦を演じ見事に堂々の2位を勝ちとったのである。

さて神大水泳部の面々は、自己記録の更新と関西国公立大会優勝チームのプライドをもって敢然と筑波大学に挑んだのである。100mでは金・川原田が入賞し、400m・1500mでは病い上りの久保田の力泳が目立った。何にもまして400mメドレーリレー・400mリレー・800mリレーのすべてのリレー種目に於て、すべて2位を獲得したことは立派であった。団体の得点争いの他に、リレー種目における広島大学との2位・3位争いは、日頃感動することが少ない小生にとって、久しぶりの興奮と感動をもたらし、手に力が入ったようだった。そして女子の部では、サリチル酸メチルの匂いをさせて力泳していた坂東をはじめ、少ない女子部員でリレーのやりくりなどをやり、頑張っていた。来年こそは、全種目フルエントリーできるよう水泳部活動の充実を期待します。

このような大きな競技会では、1人のスーパースターの存在が種目数の多いフリー面の充実があれば、団体戦の入賞は確実であると思うのだが、今回特に目についたのは、筑波大学の圧倒的な強さであった。彼らの出身高校を聞いた所、水泳の名門校及び名前の通ったスイミングスクール出身の多いことに驚いた。高校時代の水泳の一流選手ばかりを集めた大学が、団体戦を争えば勝つ確率が高いのは明らかなのである。金主将に聞けば、来年から広島大学もスポーツ選手優先選抜があり、そのようなSystemを取り入れる国立大学も増える傾向にあるというようなことを聞き、何か白ける思いがした。10数年前に小生が全国々公立戦に個人参加していた時に、防衛大学校の全国々公

立戦出場の是非に関し試合の前日のキャプテン・マネージャー会議まで、激論がかわされていたことを思い出した。これからも上記の様な問題は、よく討論されて、しかるべきだと考える。

しかし記録面においては、最近の全国々公立戦のタイムは、筑波大学などの加入により10数年前とは格段に上昇してきており、インカレの前哨戦の感がある。

私事になるが、全国々公立戦には3度参加したが、すべて個人参加であった。そして出場種目すべてに入賞し、そのうち2度ほど優勝したが、団体参加ではないので得点にならず、悔しい思いをした小生にとって、現在の諸君をみると何か羨ましいような、又後輩を誇らしげに思ふような、そんな気分になる。

今大会の入賞者はもちろん、全員が次回大会では、Best Recordを出し、参加者一人につき最低一点は取るような心意気で、練習量を増やし、精進してくれることを期待する。

愛する後輩へ、過激なメッセージ

前主将 金 一 波

人間50年、下天の内をくらぶれば、夢幻のごとくなり。

長く暑い夏の闘いは、今、静かに自分自身の内に終りを告げた。

思えば、いち水泳選手として、自分は、オリンピックに出場したわけでも、日本選手権を取ったわけでもない。しかし、選手生活を、ふり返る今、^{いち}一スポーツマンとして、自分自身の内に確固たる勝利を見いだせると断言しても過言ではないだろう。

勝利の自負、それを裏づけるのは、主将としてチームを引き卒りて全国々公立戦で団体準優勝したことや、個人で賞をとった勝利でもない。

ただひとつ、長い選手生活において、常に自分は、勝つということに対し、純粹であり、ひた向きであり続けたということである。自分の選手生活は、勝利や栄光よりも、敗北や、屈辱のほうがはるかに多かった。しかし、どんな時でも、勝ちたい、そして勝とうとする情熱は、決して失ななかつた。

はるかに実力が上の者と戦う時でも、負けるとわかっていても、常に勝つ気で勝負をいどんだ。はたからみると、こっけいでもあり、ぶざまでもあったかもしれない。はったり、大ボラとも言われた。しかし言はれば言はれるほど、「じゃかましい、何めかしとんじゃい。言いたいやつは、なんぼでも言いさらせ！ 今にみとれ！」とむくむくと反骨心がわき、血が燃えたぎった。

最初から諦めていては、何もできない。自分自身の価値は、人が作るのではなく、自分で作っていく物であり、そのひたむきに作る努力が価値であると自分は信じている。結果を恐れて何もしない奴や、体裁ばかりとりつくろっている奴、行動もせず能書きばかりたれる奴、そんな奴らに価値など存在しないと信じている。ましてや、水泳のタイムや、試合の勝敗など、まったくちっぽけなことにはすぎない。たとえベストタイムがいくら遅くても、いかに速くするために努力したか、いか

に相手が強くても、それに勝つためにいかに努力したかが一番重要なのである。

この様な自分の信念に基づき、我が愛すべき後輩諸君に一言苦言をていして、引退の弁にかえさせていただきたい。

「だいたいやなあ、最近のクラブ活動においてや、個人主義の尊重とか、価値感の多様化とかなんかしらんけど、むつかしい言葉ならべて、能書きたれる奴がおるけど、そんな奴にかぎって何もしよらへんのや。

クラブの運営ひとつにしても、りっぱな意見言ひ奴もおる。しかし言うだけやったらだれでもできるんや！ てめえで、行動してはじめてなんぼもんや。何回も言うよりやけど、クラブは営利企業でも、学校でもないんや。いややったらやめたらええんや！ なんやかんや理くつめかして練習しよっゅうさぼる奴もおるけど、そんなもん、なにやっただかてあかんから、はやめさせよやる気のある奴のじゃまじゃ。

どんなに苦しうても、歯くいしばって、何くそおもて練習すんのが、ほんまもんや。

わしも、これから、社会というえげつない所で勝負せなあかんけど、くそつたれ！ 今にみさらせのど根性でがんばるさかい、おまえらも性根すえてがんばれよ！

いつまでも、国公立のほんぼんと遊んどったらあかんて！ いっぱつ日大をいわしたるぐらいの根性でがんばってくれ！

神大がインカレで優勝したら、わしはいつでも身代投げうってでも、どんちゃん騒ぎやったるから！ せいぜいきばってや！」

最後に、またもや、この伝統と格式ある凌泳誌上で、このような破廉恥な文章をお目にかけることを、先輩諸兄に深くおわび申し上げるとともに、文中、数々の問題発言、すべて私の極道なる性格から発したものであり、その責任と罪は、私の水泳部現役引退をもって帳消しにさせていただきます。

旧三商大50回記念大会，OBの集い……雑感

昭10B 井上隆史

記念大会並びに東京如水会館でのOBの集いでは、凌泳会員の皆さんをはじめ現役諸君にも大変お世話になりました。お蔭様で大変楽しく過させて貰いました。

記念大会等の原稿につきましては、既に小山さん、石井さんのものがあり、小生如きが文章を書くなど思ってもいませんでした。

久し振りに会社よりストレートに帰宅した58-3-16(水)の夜、坂東さんから電話があつて原稿を依頼されました。坂東さんとは、記念大会終了後のパーティーのテーブルが同じでサントリービールを一緒に飲んだので、即刻原稿は引受け次第です。(富岡さん、その節はご馳走サマでした)

「三商大等の大会の正選手として女性が出場するのはどうでしょうか……」「強い人が代表にな

るというのは理に適っていて良いのではないかな?」「しかしウォーターポロではどうか?」
「他の個人競技も男女同じレースというはあるかな?」「水泳も最近皆泳ということで水泳人口は飛躍的に増え、又大学にも女性の進出著るしいので、競技会に女性の部を設けるか、さもなくばそれ迄は出場しても良いのではないか、又それが他校へのエチケットではないか」というのが凌泳会の東京での大方の結論でした。

最近では部員も多いせいか、本レースの前にオープンレースがあり、記念大会の時も多数の選手が各校より出場していました。ところが200mバタフライの時には一校の選手が一人と神戸の女性が一人とマッチレースと相成り、スタンドからヒヤカシの声援大なり。スタートした直後スタンドは更に騒然とした。理由は一校の男性選手も強かったが、神戸の女性は更に強く(本番レースに出場していれば堂々2着の記録)、お互い独泳となった次第でした。その女性が坂東さんでした。

50回記念大会の優勝カップの新調では、太田さんには大変お世話になりました。昭和4年から使っているカップは53年余も使っていた訳ですから、今後も50年使いとして、2032年頃迄使える物を作ろうと張り切り、今の世相の「軽・薄・短・小」の反対で「重・厚・長・大」で行こうと話し合いました。結論的には、東京、大阪、神戸の運搬、プールサイドでの見映え、他大学との費用分担etcを考えて決定、製作し記念大会に間に合わせて貰いました。昭和1ヶタの北条氏、植木氏、小山氏、草野氏、山田氏、熊野氏、板野氏、宮本氏、小池氏、野村氏、伊藤氏の諸先輩には過分のご寄附を頂き立派なカップが出来ました。厚く御礼申し上げます。自慢のカップの中でも特に秀逸なのは、七宝焼の清川杯と、水球のボールの輝く水球のトロフィでしょう。山口さんが頭を悩ました甲斐がありました。また競泳、水球、総合の3部門のプレートの順序は、アマダを東京凌霜クラブの西本さん(だったと思う)に引いて決めたものです。

OBの集い(57.11.11)は、一橋にとっては如水会館が完成したところでもあって一橋の出席率は良く、神戸の場合は仕事上の欠席者が多く一寸残念でした。しかし神戸より石井さんと現役の金君、長崎君が駆けつけてくれましたので大いに面目を保ち、一橋の量に対して質で対抗したものでした。

就職先が東京方面というケースが増えつつあるようですので、近い将来は、量でも一橋に対抗できるようになりたいものです。

今年の話躍を期待しています。

会員からのお便り

——総会案内状返信より——

- 山田 幸男(特) 欠席、お許し下さい。小生この4月25日退院いたしました。5ヶ月の在院生活でしたので自宅であと1ヶ月半の安静と医師より命ぜられております。石井先輩はじめ皆様によくお願い申し上げます。
- 溝口 卓郎(高18) 本年は今の所幸に故障もなく過して居ます。出席の諸彦によく。今年も部員のご活躍を祈る。
- 川北 正喜(高18) 幸い、老生、元気でおります。
- 足達 英彦(高19) 80才になりました。泳いだ思い出も遠い昔の事です。今は会社も退いて思ひままノンビリと過しています。当時の仲間、田代菊太郎君(東京在住)、富森安夫君と今日に至るまで親友として文通しています。両君とも健在です。水泳部の発展を祈ります。
- 草野 嘉一(学1) お蔭様で元気です。(1)東京凌泳会の会合のほか (2)凌泳春秋会と称して昭和6年~11年卒業の在京凌泳会員8名が春秋2回集まって懐旧談に花を咲かせております。
- 小山賢之助(学1) 日本人男子の平均寿命は73ながしといいますが、私はそれを超過し体力の減退を感じます。泳いでも走っても、ゴルフをしても、以前とは疲労度が違うのです。凌泳会員各位の御自重を祈ります。
- 山田 常雄(学1) 本年は三商大50回記念大会が催される年ですね。何かとお忙しいと思います。出来るだけ応援したいと考えています。
- 宮本 伯夫(学3) やむを得ぬ用事の為残念ながら欠席致します。遙かに盛會を祈っています。議事小山氏に委任致しますから宜しくお願い致します。小生元気でよく遊んでいます。今年の現役連中の御活躍を期待しています。
- 本間孝之助(学4) 札幌市中央区南3条東2丁目1 本間倉庫株式会社所有、サンシャインビルディングの内に巾5m、長さ25m、水深10mのダイビングプールと公認25m7コース、スイミングプールを建設中。8月中に完成する予定です。
- 桑川 義男(学4) 都合で欠席しますが、元気でいます。みなさんによく。
- 小池 三郎(学5) 総会のご案内ありがと存じました。残念ながら欠席いたします。昨年70才を機に退任いたし相談役となりました。健康にしております。ご盛會を祈ります。
- 伊藤 英二(学7) 5月22日、先約がありますので当日は出席出来かねます。5/25東京凌泳会員の集いが予定されていますので、その席で総会の模様並びに部の様子を聴けることと思っています。
- 太田 正元(学7) 相変わらず三洋金属に居ます。東京凌泳会は小山先輩、山口 共々、時々開催されますが中々日取が合わず出席出来ていません。
- 岡野 敏(学7) 卒業以来40数年、誠に御無沙汰して申訳ありません。諸君益々御

健勝の事と存じます。卒業してすぐ戦地に転戦し、帰還後も戦後の混乱の為同窓生とも音信不通にて疎遠となり今日に到りました。残念に思っています。近くに在住している事ですし、一度なつかしのプールで泳がせて貰いたいと思っています。いまはすべての職を辞し、悠々自適?の生活にて毎日を何となく過しています。又機会があれば諸君とも、又その頃の部員諸兄とも会談が出来ればと思っています。では又

- 富岡喜一郎(学7) 会社を病氣退職し静養しております。
- 大内 義仁(学8) 総会のご案内有難く拝見しましたが、当日は地元の行事も多いので残念乍ら欠席致します。体重75kgに達したので減量作戦を立てていますが室内プールでのんびり泳いでいるせいか食欲が益々旺盛になるばかりで、仲々目標に達しません。或いは吾が故郷ヒロシマの小魚の味、余りによろしく、又地元の酒の余りに美味なるか、或いは又わが女房ドノの料理の腕前の余りに進みたるためか、あれこれ思いめぐらせています — 口の悪い友人曰く、
オ前ハ学生時代カラ ヨクカンゲキシテ食ベテイタゾ。 阿々
- 福永 拓造(学8) 私こと本月24日を以て満70才になります。昨年の誕生日は水泳部全国大会に出席して居りました。今年は今日から約2週間の予定で海外(フランス)へ出かけます。皆様に宜しくお伝え下さい。
- 吉野 栄(学9) 出席、楽しみにしています。
- 山口 宗樹(学10) 欠席申訳けありませんが、当日小生主催の会があり変更出来ませんので失礼します。今夏の三商大50年大会は成功させたいと存じますので良き案をたて下さい。皆様に良々も宜しく。
- 前田 寿(学11) 今度、小生宛の連絡は全て自宅宛にお願いします。都合がつけば出席するかもしれませんが今のところは欠席します。
- 上田 宇一(学13) 総会月で多忙ですので失礼致します。皆さんに宜しく。シーズンには頑張ってください。
- 荻野 茂希(学13) 昨年、胃を切除して約半年、体調不順、ほしいものを食べ、飲みたいものを飲むたのしみがなくなり、早く元通りになってほしいと思います。
- 石川 七郎(学14) 出張が多いので連絡は自宅に願います。
- 井上 清(学14) 御無沙汰ばかりして大変失礼して居ります。御出席の皆様に宜しく御芳声願います。
- 湯山 正三(学14) いつも御連絡を有難う。
- 三宅 林(学16) 山陽スイミングスクールが近所にあるので時々泳いでいます。御出席の皆様によろしく。
- 武内信一郎(学18) 諸先輩に宜しく御伝え下さい。
- 徳岡 登(学19) 凌泳の名簿の勤務先は間違っていますので御訂正下さい。
- 中川 正敏(学20) 大した変化もなく、まずは元気で日常業務に精励しております。
- 石井 義章(学22) 世の中不景気ですね。商売の方はサッパリです。毎日アクセク働いて

います。お蔭で病気になる暇もなく身体は至って元気です。少々腹が出て来たのが気になります。三商大戦でお会い出来ることを楽しみにしております。

- 今枝 一(B1) 不況の中ですが歯を食いしばって頑張っています。諸兄姉に宣しく御伝へ下さい。
- 田淵 五郎(B3) 去る4/22には金主将上京御苦勞様でした。三商大50回記念大会を楽しみにして居ります。我々同年代では小原先輩がNYへ転勤と聞きましたが、3回生佐藤君(大和銀行勤務)を是非会合や試合に誘い出して下さい。
- 堂本 直正(T3) 又転勤(4/1付)九州勤務です。当日出席の自信ありません。同年の溝口兄(大分県在住)に逢いたく5月下旬と約束しております。当日の皆々様によろしく。5/2大阪にて。
- 村田 邦夫(J3) 久しく皆様にお目に掛りませんが元気に御活躍の様子、なつかしく思っております。皆様によろしく。
- 橋本 力(J3) 総会当日は日中水泳大会(6/12~13)の最終リハーサルのため出席できません。この春は私の学校の水泳部が現役諸君に大へんお世話になり感謝しております。
- 富岡 道雄(B4) 水泳部、今年度の健闘をお祈りします。
- 松田 司明(J5) 近くの温水プールで相変らず月13~14回泳ぎに行っています。快食、快眠、快便も快泳のおかげと感謝しております。皆様に宣しく。
- 山口 仁郎(B5) スキーシーズンも終り、もっぱら舟遊びに専念しています。当日(5/23)は神戸ポーアイプールにての日中対抗水泳競技大会の役員講習のため欠席します。出席の皆様方によろしく。
- 岡見 晴児(J6) 過日東京凌泳有志の集いあり、伊藤、榊原両先輩と痛飲しました。ゴールデンウィークはテニスで日頃のストレス解消に努める予定です。御出席の皆様にごヨロシク。
- 前田 修(S7) 現在の所、出席予定ですが骨折の後遺症の治療で確実とは言えません。
- 河村 雅彦(J7) 上記へ転勤致しました。(名簿に記載)
- 山本 哲弘(B7) 御無沙汰ばかりで申訳ありません。最近村岡氏(昭35)が東京に転勤になり時々関西方面で御活躍の皆様方のお話を伺っている次第です。
- 宇賀 史郎(E8) 備後の片田舎で悪戦苦闘しております。御出席の先輩諸氏によろしく御伝え下さい。現役の諸兄は水の中で青春を謳歌して下さい。
- 村岡 英樹(B8) 残念ながら東京転勤の為欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え下さい。
- 上村 久治(E8) 総会は残念ながら欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え下さい。昨年来、永野、奥野両君が転勤し淋しくなったと思っていましたら、村岡、原両君が初めての東京勤務となり、黒田、杉岡と小生の5名で連休明けに一夕を過ごすこととしております。
- 米田 啓祐(D10) 昨年の全国大会からもう一年がいつのまにか過ぎたことを気づきなおしています。今年はポーアイプールで行なわれる日中対抗戦の裏方として動員されますが、水泳

でお世話になったお返しと思い出かけていくつもりです。

- 高岡 保宏 (P 10) 「美津農日中水泳 '82」が 6 / 12(土)、6 / 13(日)に P I プールで開催されるため、事前の審判講習会に出席しなければなりませんので欠席します。御出席の諸先輩によろしくお伝え下さい。
- 岡田 重義 (B 10) ①昨年秋から "A D I D A S" 取扱いの兼松江商スポーツ用品部を離れて、東京銀行のリース部門、東銀リースへ出向しています (tel 直通 06-202-4113)
②6月上旬の練習予定について御連絡頂きたく一度連絡下さい。新10回生が6月第一週に関西で集まることになっています。
- 井上 隆史 (B 10) 凌泳会東京支部も山田君 (E 10) が福岡転動以来休業状態でしたが 4 / 22(木)久し振りに会合し、次回 5 / 25(火)の開催も決めました。今年は現役諸君の記録も良いので大いに期待しております。ポロの方も頑張りたいと思います。6 / 5 に卒業20周年で六甲台に行く予定ですので Pool にも寄る予定。
- 太田 斎 (B 10) 毎年欠席の無礼を重ねて申し訳なく思っています。休日も己れの意のままにならずご容赦下さい。
- 萩原 武 (T 10) 昨年3月転動後丸一年が過ぎ家族ともどもこちらの生活にも慣れ元気でやっております。福岡の先輩の所に御挨拶に伺わねばと思いながら未だ果しておりません。時間の作り方が下手で休日でも大半出勤しなければならぬ有様、とにかく身体だけは元気でありたいと願っています。久し振りに黄金時代を迎えた水泳部の皆様におかれては更に闘志を燃やしておられる事と存じます。昨年以上の御活躍を期待しています。
- 窪田 信雄 (J 11) 遠くのため欠席致します。諸兄によろしくお伝え下さい。人事研修関係の仕事を担当しているため、4~5月は特にバタバタと日を送っています。
- 平岡 昭明 (P 11) 昨年の凌雪会の御世話をさせていただきました。近隣の方々中心に80通程御案内をさしあげましたが、そのうち半分も御返事がいただけませんでした。次回は誠に申し訳ございませんが郵送料もかさみますので前回御返事いただけそうな方々に御案内をさしあげたいと思っております。したがって、新たに御参加いただける方は御一報下さるようお願い致します。御案内をさしあげたいと思います。次回の予定は同じく2月下旬の(土)(日)で神鍋名色スキー場です。現役諸君は試験週間で申し訳なく思っております。
- 藤岡 治男 (P 11) スポーツ・シーズンの日曜日は殆んど仕事でうまっていますのであしからず。
- 鈴木 正弥 (E 12) May 4 付でニューヨーク勤務を命じられ 5 月末赴任予定です。当分凌泳会の皆様にはお目にかかれぬものと思いますが、ニューヨーク来訪のチャンスがあれば是非お立ち寄り下さい。
- 武政 英幸 (B 12) 近々同期の鈴木兄、滝沢兄とゴルフ場で一戦交える予定。
- 丸山 昱也 (T 13) 「住所変更」ではないけれど、加古川の事務所には「丸山昱也」のカンバンを出してませんので水泳部関連の郵便は名簿に載っている「自宅」の方へ出して下さい。

- 真喜志好一 (T14) 子供男女各1に泳ぎを教えているのだが、僕に似て体力にバネも持久力もなく競泳はものになりそうもない。
- 阿部 洋三 (T15) 相も変わらず水泳にはげんでいます。最近の記録では400mFr 6'02"4というところです。室内プールなので現役諸君のような季節感が味わえないのが残念です。六甲台の冷たい水に負けないでガンバッテ下さい。
- 宮部 高博 (L15) 昨日TVにて貴部員が出演されているのを見、なつかしく思いました。諸兄の御健闘を祈ります。
- 木村多加緒 (J18) くずは男山スイミングスクールで週1回泳いでいます。記録50mFree 28"3, 100m Back 1'16"2, 200m Free 2'38"1 (短水路) 年令別に行なわれるマスターズ大会でのタイムです。
- 米田 章 (J20) 奈良から堂島へ変りました。大阪北部から阪神間を担当することになっております。事務所は毎日ホールの前にあります。また転勤にともなって自宅もかわりました。帝塚山短大の近くですのでぜひお立ちより下さい。
- 家本 博一 (E22) 名古屋に参って1年経過しました。ここでも一生の友と言える人にめぐりあえそうです。大学での研究生活を充実したものにできるよう、毎日悪戦苦闘しております。
- 紫垣 和男 (B23) 出状が大変遅れてしまい申し訳ありません。
- 佐藤 弘之 (T25) 5月16日に結婚予定、上記に住所変更となります。
- 檀上 明夫 (J25) シーズン到来、皆様のご活躍を祈っております。広島も6年目になりましたが来年あたりそろそろ転勤かな(?) 広島へこられる予定の方、おはやめに!!
- 中西 康之 (T25) ステレオ設計グループ→設計第2グループへ変更
- 村田 邦夫 (J26) 娘(千草)が生まれ、毎日楽しくやっています。勿論将来はスイマーにさせようかと考えてます。
- 栗野 正子 (S26) 今年の3月で鐘化を退社しました。今後は連絡は自宅へお願いします。
- 後藤 信人 (B26) 残念ながら当日をはさんで3日間社内研修が実施される為参加できません。先輩諸兄に宣しくお伝え下さい。又現役諸君、新入部員の皆さんの今シーズンの御活躍に期待しております。尚折角任命頂きました大阪支部役員でしたが何もせず辞さねばならなかったことお詫び申し上げます。
- 酒井 正人 (A26) 教職についてまだ1ヶ月足らずなのに、もう教育の矛盾を感じているこのごろです。一生悩み多き人生になる思いがします。
- 慈幸 弘樹 (P28) またドイツ語で苦しんでいます。全国々公立で会えるのを楽しみにしています。現役のみなさんの御活躍を期待しています。
- 中尾 稔 (J28) 体重は在学時と変わらないのですが、肩から胸にかけてあった筋肉がしたいに下降、一ヶ所に集中しつつあります。今年は筋肉を分散させるためにもできる限り泳ぎたいと思います。
- 桑本 万里 (P28) 出席したいのですが日曜日は一週間分のそうじ、せんたく、かいもの

があるので…。9月中旬に赤ちゃんが生まれる予定です。元気で頑張っています。就職3年目、今年3年生の担任です。

- 上田 剛弘(B29) 只今残業中、デスクにむかってペンをとっています。卒業して早一年水泳からも遠ざかりかけていたところへ届いたこのハガキを見ていたく感激しています。皆さんの元気そうな顔が早く見たいものです。では今年も良い戦績を残せるようがんばって下さい。
- 富岡 洋三(B30) 暗い寮生活で何かと不自由しています。仕事後、支店の向かいにあるフェスティバルホールに通うのが数少ない楽しみの1つです。残念ながら総会当日はソフトボール大会、こちらでは外野手の要としてはりきっています。先輩諸氏によりしくお伝え下さい。
- 白子 靖則(B30) 神戸支店(元町)に配属になり西宮の寮から通勤しています。住み慣れた土地とはいえ環境や生活パターンが大きく変わり、なかなか大変ですが、まあほろほろやっています。当日は都合が悪く欠席しますが近くですから、またプールへ行きますのでよろしく。
- 後藤 芳光(E30) この度小野田セメント物東京本部経理部経理課に配属になり、会計、税務、決算等の仕事に奔走しています。東京に来られた時は是非尋ねて下さい。
- 寺尾 紀子(P30) 当日の都合でどうなるかわかりませんができる限りお伺いしたいと思っております。名目は家事手伝いですが……。ピアノ講師をしながら、家庭教師もしております。一日一日を、わりと有意義にすごしています。今年の皆様の御活躍を期待しています。試合も応援に行きたいです。又お知らせ下さいね。
- 森田 恵(A30) 毎日仕事に追われて忙しい思いをしております。行って帰ってくるだけで精いっぱい、ただただ学生時代がなつかしい。

——旧三商大案内状返信より——

- 溝口 卓郎(大13高18)シーズンに入ると往年の思い出に心が躍る。吾々の時代は練習場はプールではなくて青谷の泥池であった。日本のチームで初めて水球を取り入れたのは神戸高商であった。相手は在留の神戸外人チームで敏馬の浜で幾度か試合を行なったが経験の不足か勝った記憶はない。
- 北条 卓夫(昭6高25) 先づ先づ元気で居ります。皆様へよろしく。
- 草野 嘉一(昭7学1) お陰様で元気です。先約のため欠席します。(7月23~26日は伊豆下田海岸で泳ぐ約束)50年前を偲び御盛會を祈り上げます。
- 宮本 伯夫(昭9学3) 川鉄コンテナKKの相談役を退任、川鉄と川コン両者の顧問となり毎日が日曜となりました。但し月曜日は千葉大学の文学部歴史科に聴講生として勉強に行っています。まあまあ元気です。
- 池谷 俊一(昭10学4) 昨年の6月12日脳梗塞で半身不随の状態入院。リハビリに努めた結果後遺症もない程回復しました。現在家庭で療養中です。

- 本間孝之助(昭10学4) 遠い北海道に度々御便り下さりまして有難う御座います。御陰様で元気です。来道の節は御立寄り下さい。皆様様によろしく。
- 桑川 義男(昭10学4) 御盛會を祈っています。
- 富岡喜一郎(昭13学7) 動脈硬化症になり養生しています。
- 伊藤 英二(昭13学7) 第50回目の記念大会には前々から出席するつもりでいましたところ、先月下旬から家内が入院中のため欠席せざるを得ません。甚だ残念です。当日母校のプールは沢山のOBでさぞ賑やかになるでしょう。盛大な大会と、後諸君のご活躍を期待しています。
- 太田 正元(昭13学7) 相変わらずです。山口宗樹君、井上君御依頼で三商大戦のカップ作らせていただきました。誠によい記念になりました。光榮の至りと感謝申し上げます。
- 大内 義仁(昭14学8) ご案内いただき誠に有難う。三商大戦と云えば、往年のファイトが再燃する思いであり早速にも六甲台にはせ参じたい気持ですが、当日は当地での行事に参加の約束がありますので残念ながら出席出来ません。悪しからずご諒承の程。ご出席の諸兄によろしくお伝え乞う。
- 大西 真博(昭15学9) 旧三商大戦50回記念大会お目出とう。禪を締めて力一杯泳いだ昔が懐しくよき時代、よき青春を持ったことを感謝しています。益々御健闘祈ります。
- ポロの想い出
右すみにシュートして勝てり国は左すみゴールを前にいしつ心つくし吾
- 吉野 栄(昭15学9) 出席たのしみにしています。学生も体調に留意。最後の仕上げに励んで下さい。
- 山口 宗樹(昭16学10) 卒業40年を過ぎましたが元気に50回大会に出席出来る事を嬉しく思います。100回大会に向け盛大に後輩に引き継いで下さい。各地区でOB会も盛にやりましょ。う。
- 前田 寿(昭16学11) 残念ですがそのころは娘夫婦が留学渡米のため上京したいと思っておりますので欠席の予定にしておいて下さい。
- 山川 初雄(昭17学8) 前略三商大戦も今年で50回になるとのこと、もうそんなになるのかと驚いている。小生現役最高学年の三商大戦は直前の7月初旬に例の六甲山の山崩れがあり、ほんの数名参加可能な部員のみ上京したと記憶している。小生残念ながら不参加、なにはともあれ元気で頑張って欲しい。健闘を祈っている。
- 尾上 信三(昭17学8) 目下体力調整中ですので残念ですが欠席させていただきます。山口先輩によろしく。松田司郎さん方にもよろしく。
- 上田 宇一(昭18学9) いよいよシーズンインですね。頑張ってよい成績をあげて下さい。部員のご活躍をお祈り申し上げます。奈良国体は59年奈良県が開催県です。よろしくお願ひ申し上げます。
- 荻野 茂希(昭18学9) 昨年胃の切除により目下療養中、今年一杯は無理をせずもっぱら回復に努力しております。ご出席の皆様によろしく。
- 古川富貴男(昭18学9) なかなか出かけるチャンスがなくあいすみません。皆さんによろしく。

- 富中 暁(昭18学9) 相変らずヘルスクラブのプールで出張や旅行の期間を除き殆んど毎日泳いでいます。今年は何とか出席したく25日夕方には北信濃に行かねばならぬので、大阪-松本の飛行便も一応調べたのですが残念乍ら欠席致します。御健斗を祈ります。皆様によろしくおつたえ下さい。
- 湯山 正三(昭19学10) いつも御案内有難ございます。50年記念大会の盛会を祈ります。
- 井上 清(昭19学14) 御無沙汰続きですみません。御出席の皆様によろしく。
- 稲垣 信夫(昭20学15) 皆さん御苦労さんです。丁度出張中で参加できないのが残念ですが、皆さんによろしくお伝え下さい。
- 山越 重義(昭23学17) 一度出席したいと思っておりますが、今回もだめになりました。皆様によろしく。
- 鈴木 富夫(昭25学20) 不況で多忙、悪戦苦闘中です。(良い時は動かずにモウかると云う事) 皆様の御健闘を祈ります。
- 佐脇 鷹平(昭25学20) 卒業以来欠席続きで申訳ない。考えてみたら30有余年それ程暇と熱意が足らなかったのかと、生活の姿勢さえ反省せねばならないほどである。ただ業界で結構水泳部出身同士交歓はしている。祈御健闘。
- 大西 繁(昭25学20) 近くに居りながら出席もせず、残念です。
- 小平喜一郎(昭26学21) 凌泳会には入会しませんので宣敷く。水泳等やっている時間はありません。
- 石井 義章(昭27学22) 兵庫インカレ三連覇お目出とう。旧三商大戦諸準備御苦労様です。当日の好天と成功を祈っております。
- 中井 三郎(昭27学22) 最近体力の衰えを感じ愕然としています。今夏から毎週2回は体力づくりの為、本山スイミングプールで泳ごうと思っています。
- 山本 幸雄(昭27学22) 3年半のフィリピン駐在を終え8月初頃にバンコク駐在になります。住所等きまれば改めて連絡します。あと又3~4年は日本に帰れません。三商大戦での勝利を祈ります。
- 関山 道雄(昭28E1) かなりくたびれてきましたが、まあまあ元気でやっています。昔苦しい思いをして泳いだ時の養われた体力のおかげが少し残っているのかも知れません。新しい技術の進歩に遅れまいと努力しています。
- 小原 祥男(昭29B2) 主人は4月から兼松江商(米国)株式会社へ転勤になりました。
- 堂本 直正(昭30T3) 神戸は遠くなりけり。にて欠席させていただきます。当地に来まして2ヶ月、過日は東京にて同年の田淵・榊原・村田兄に逢いました。昨日は福岡県議の岡本忠男大先輩にお逢いできました。T10回の萩原さん(北九州市在)、同年のB3回溝口兄(大分県在)にも機会作って訪問する予定。元気にしております。
- 溝口 汪(昭30B3) 小生遠方なので出席いたしかねます。皆様によろしくお伝え下さい。
- 橋本 力(昭30T3) 今年は日中対抗水泳、3年後にはユニバーシアード大会とこの齡にな

- って、まだ水泳と縁が切れません。
- 富岡 道雄(昭31B4) 部員の皆さんのご健闘をお祈りしています。
- 松田 司明(昭32J15) たまには下手なゴルフを止めて六甲台で泳ぎたいと思っています。水泳は学生時代より上手くなりました。決して早くはなりません。
- 岡見 晴児(昭33J6) 50回記念大会の成功を祈ります。神戸ガンバレ!
- 柴川 泰介(昭34E7) 年間10回程インドネシア・カリマンタンに出張し留守がちで凌泳会にも出席出来ず申し訳なく思っています。
- 前田 修(昭34S7) 現時点では出席の予定ですが、3年越しの足の骨折の後遺症のため手術をするかも知れません。また娘をサンタクララ国際水泳にUSAへ行かせていますので、所用があるかも知れません。世話を下さっている方々は御苦労様、私も楽しみにしています。……、気持としては這ってでも行きたい……。
- 永野 一彦(昭35E8) 目下本人永野一彦は三菱商事ルーマニア支社ブカレストに駐在、家族ともども勤務致して居りますので心ならず欠席させていただきます。御了承下さいませ。
- 上村 久治(昭35E8) せっかくご案内をいただきましたが欠席します。先般東京での凌泳会席上報告では、本年は特にレベルが高い由で心強く思っています。水球、競泳ともに優勝を!!
- 柳本 正雄(昭37B10) 商用にて出張いたします。御盛会にて、又皆様の御活躍を期待しております。
- 岡田 重義(昭37B10) 兼松江商から東京銀行のリース部門である東銀リースへ応援に来ています。リース業界の最後発の新顔ですが数年中にベスト10入りを果たたく思っています。
- 山田 貴彦(昭37E10) 旧三商大50回大会お目出とございます。当日他に所用あって失礼させていただきます。現役諸君の活躍を祈っております。
- 萩原 武(昭37T10) その後すっかり御無沙汰しています。おかげ様で家族共ども元気でやっています。50回記念大会の盛会を心から祈っています。当日は申し訳ありませんが都合がつかず欠席しますが皆様にはどうかよろしくお伝え下さい。
- 林 荘八郎(昭38E11) 兄荘八郎一家は現在もブラジルサンパウロに元気におります。今年暮に家族のみ帰国予定で、兄荘八郎の帰国の方も近々あるのではと思っております。
- 鈴木 剛弘(昭38B11) 目下単身赴任で独身寮暮らしです。三商大戦当日は残念ながら出張の為欠席致します。皆様によりよくお伝え下さい。
- 藤岡 治男(昭38P11) 勤務の都合で両日共出席できません。健闘を祈ります。
- 武政 英幸(昭39B12) 7月1日付で大阪へ転勤となりました。14日より赴任予定です。
- 鈴木 正弥(昭39E12) 今年の5/30、米国住友商事に転勤となり渡米し、家族も来月にはまいます。任期は6年位ですので、又帰国致しましたらよろしくお願い致します。
- 山本忠比呂(昭39T12) 4月より首都に転勤致しました。勤務先佛東洋ベアリング岡山製作所等速ジョイント製造部、目下ファミリア、カペラFFのジョイントを製造しております。マツダ車の御愛用を。

- 丸山 昱也(昭40T13) 24日夜より上神。「前夜祭」があるそうです。
- 真貴志好一(昭41T14) T11の夏目兄が沖縄に転動されていることを — 凌泳会名簿で — 知り、近々お会いするつもりです。
- 手嶋 忠之(昭41S14) 只今、在米中ですので残念乍ら出席できません。父親が代って御連絡申し上げます。御盛会と好成績をお祈りしています。
- 由佐 禎男(昭42T15) 4月初、住居が変わりました。
- 阿部 洋三(昭42T15) 残念ながら出席できません。現役諸君の健闘を祈ります。相も変わらず週3回のペースで泳いでいますが最近仕事(TQC)がいそがしく調子は低下気味です。一発いってやっと100メートルBu 1-13~1-14というところです。
- 宮部 高博(昭42L15) 残念ですが欠席致します。御参加の諸兄によりしくお伝え下さい。
- 井上 史郎(昭45B18) 今年の梅雨は全国的に雨が少なく、ビールがよく売れていそがしくしています。三商大戦は、最盛期に応援に行きませんが記念大会ですのでがんばって下さい。
- 王置 明(昭45E18) 元気でやっております。こちらでも殊には温水プールで泳いでいます。出席出来なくて申し訳ございません。
- 小林 育夫(昭46T19) 最近運動不足を補うため月2回程度泳ぎに行っております。部員皆様の日頃の鍛練・御活躍をお祈りします。
- 家本 博一(昭50E22) 相変わらず大学の研究生活を送っております。
- 茶垣 和男(昭50B23) 両日共職場旅行のため出席出来ず残念ノ 諸君の健闘を期す。
- 藤森 一男(昭51T23) 何とかかんとか暮しています。子供をつれて泳ぎに行きたいと思っているのですが、なかなか行けません。今年も一度くらい泳げたら良いほうだと思っています。
- 佐藤 弘之(昭53T25) 7/23~7/25山陰方面へ旅行のため出席できません。競泳では全種目征覇を、ポロでは打倒一橋をめざしてがんばってください。
- 平石 康(昭53P26) 7月に入って何かと忙しく連絡がおくれてしまった。合宿や試合、そのたびに連絡をうけながら行けなかったこともすまないと思ひ。でもみんながんばってくれているようでうれしい。私生活の面では以前として変化なし。
- 酒井 正人(昭53A26) 去る6月26日に長女真貴子が生まれ、今わが家はてんてこまいです。小学校の勤務にもようやく慣れ学生生活も遠い昔のように思われる今頃です。現役諸君の活躍を期待して今年もプールに足を運びたいと思っています。
- 後藤 信人(昭54B26) 東京に来て早や半年。こちらは日の出が早く小生の安眠をかなり妨害しております。兼松江商東京本社の水泳部は俗称「兼水会」と申しまして、部員数も百名を越える大所帯。東京に着任早々そのコーチ陣に混じらせてもらっていましたが、先日ようやく後藤コーチの平泳ぎ教室が開かれました。成果は9月4日に開催される東京商社大会に於て、きっと見られることでしょう。7月中旬より電話が入ります。No.0473-44-3042 Love Call したい方はお書き留め下さい。
- 差出人不明 最近自動車の運転を再度始め、先日は信州まで片道400kmのドライブ

をしましたが案外平気でした。平素のジョギングと水泳のお陰のようです。

- 大林 良和(昭55M13) 昨日福知山のプールで泳ぎました。50mが限界でした。もう年です。せめて75mは泳げるようがんばるつもりです。
- 中尾 稔(昭55J28) 旧三商大水上競技50回記念大会おめでとございます。今日は都合によりいけません、遠方にてグラスを傾けたいと思います。皆様によろしく。
- 山本 隆(昭56E29) 何をしてもわからない事ばかり。新入社員の試練のまっただ中! 住所変更しましたのでよろしく。
- 上田 剛弘(昭56B29) 兵庫インカレ優勝おめでとございます。その勢いで、関西国公立全国国公立そして関西インカレとがんばって下さい。また三商大での一橋との水球は楽しみにしていますので、がんばって下さい。
- 森鼻 隆夫(昭56P29) 学校の療育キャンプと重なっており行けなくて申しわけないです。今の水泳部は戦力様々な企画など、どれをとっても充実しておりすごいなと思います。これからも頑張ってください。
- 慈幸 弘樹(昭57P28) 当地のプールで毎日3,000mは練習しています。お陰でお腹の脂肪もとれました。まだまだ若い!
- 富岡 洋三(昭57B30) 入行2年生随一の変人と新入生で最も奇行の多い人間との相部屋で、狂ったような凄じい寮生活を展開しています。(わが寮は2人部屋が多い)
- 後藤 芳光(昭57E30) 記念すべき50回大会に残念ながら出席できません。現在、全欠病なるゆゆしき病に取りつかれています。52回大会には是非参加したいと思います。諸先輩方によろしくお伝えください。
- 寺尾 紀子(昭57P30) 周りが小さい子供ばかりで若返っています。また演奏会があるので少し緊張気味の毎日を送っています。
- 藤田 弥門(昭57準) 私のような者を準会員に入会させていただき誠にありがとございます。本来なら出席させていただき一言お礼を申し上げなければならぬのですが、何せ新人ゆえ仕事が忙しく欠席させていただきます。Ps ワシャやっぱり関西がええなあ~!!

——57年度月見の宴案内状返信より——

- 溝口 卓郎(T13高18) 努力が報いられて中々の好成绩お目出度う。今年も頑張れたし。
- 植木 實就(S6高25) 御案内有難うございましたが都合つかず出席出来ません。御集会の皆さんに何とぞよろしく。当日の御盛會を祈ります。
- 北条 貞夫(S6高25) 折角の御招きの処、身勝手老年の為欠席します。若い皆さん、大いに盛會にさせていただき様お願いします。
- 草野 嘉一(S7学1) 御陰様で元気に消光しております。東京凌泳会總會、東京凌泳春秋会

- には出席しております。ボランティア活動で日本サラリーマンユニオンの理事として民間サラリーマンの生活向上運動に勤めております。
- 小山賢之助(S7学1) 本年度男子成績、神大としては最高と存じます。選手各位の御健闘に感謝します。女子はもう少し頑張ってください。名古屋のインカレ参加者3名は近年にめずらしい好成績です。来年もしっかりたのみます。出席の皆様によろしく。旧三商大運営に参加した人々に感謝します。
- 熊野 利夫(S8学2) 八月に福岡の志賀島海水浴場に行って泳いだら、よく浮くので気をよくした。
- 宮本 伯夫(S9学3) 会社の方は御役御免となり完全にフリーになりました。ゴルフと囲碁に精を出しています。又毎週1回千葉大学文学部歴史科に聴講生として通っています。元気です。
- 板野亀八郎(S9学3) 小学校、中学校と全くスポーツをやったことのない孫娘が高校に入ったトタン水泳部に入りトテモ楽しんでいるらしい。神戸大学では女子の水泳部も盛んなようだよと一寸気を引いて見たが「神戸カー」と云っただけで興味を示さない。関西については全然知識も旅行経験もないことを思えば無理もあるまい。大学に入れば一寸親元をはなれたいらしいがそれも精々関東地域内のようだ。
- 池谷 俊一(S10学4) 昭和57年度諸兄の大活躍により優秀な成績をあげられ御同慶にたえません。小生昨年は脳梗塞により入院も長期間でしたが、一応健康を回復し目下自宅で静養、体力の回復に努めています。出席出来ず残念に思っております。各位の御健康を祈ります。
- 本間孝之助(S10学4) 札幌市中央区南3条東2丁目1番地に、深さ10m、長さ25m、diving pool、公認25m7コースのswimming pool其他、アスレチックジム、サウナ等を設備したSunshine buildingを建設し、本年9月1日Openしました。御来札の節には是非御立寄り下さい。
- 古賀 克己(S11学5) 本年度の成績も立派なものでなによりでした。小生元気で毎日勤務しています。そのうち何かの集りに出席したいと思っています。東京の野村弘君とは会ったりしています。
- 小池 三郎(S11学5) 月見の宴の御案内ありがとうございました。本年度は優秀な成績を収められた由、誠にお目出度う存じます。今を去る40数年前を偲んでおります。ご盛會を祈る。
- 伊藤 英二(S13学7) 七月中、満七十才になりましたので、内規により七月末をもって退職致しました。永い間のサラリーマン生活でした。貴部の本年度成績を拜見。予想以上の好成績に対し、心からお祝い申します。9月13、14、両日、小樽高商同期生会が北酒場であります。小池三郎君と同行します。従って今回も月見の宴は欠席致します。さぞかし盛大な宴となる事と期待して居ります。出席の諸兄によろしく。
- 太田 正元(S13学7) 本年度成績を見て、仲々の出来栄、喜ばしき限りです。いつも仲々出席出来ませんで申訳ありません。九月十一日からシンガポール、台湾に商用にて出張して居ります。皆様によろしく。
- 富岡喜一郎(S13学7) 脳血栓で静養中です。

- 満野 公介(S14学8) 返事が遅れて失礼しました。御案内を頂きながら15日は丁度差支えますので欠席致します。悪しからず。皆様によろしく。
- 福水 拓造(S14学8) 今迄、病気らしい病気もせず至って健康だったのですが、今年五月満70才を迎えた頃から、少々体調をくずし、毎日病院へ検査に通ったりするこの頃です。早くこの状態を切り抜きたいと思って居ります。
- 大内 義仁(S14学8) わが家より約30分でゆける県営50m室内プールあり、泳いで帰るとスヤスヤとよく眠れて、お陰で健在。神経痛を持つ家内にもすすめて成績良好。やはり水泳は万能薬です。御盛會を祈る。
- 大西 真博(S15学9) 本年度の御活躍に敬意を表します。月見の宴欠席御免なさい。皆さんの盛大な宴となります様祈っています。月見宴水中温し裸にて丘に上れば寒き風吹く
- 中村 市治(S15学9) 皆々様の御健康を祈ります。
- 山口 宗樹(S16学10) 月見の宴の御案内有難うございました。残念乍ら欠席致します。多数の御参加と御盛會を祈ります。又本年度の好成績、旧三商大50周年大会、大成功だった事、計画実行された皆様の御労苦を心から感謝します。水泳を通じての皆様の友情と御幸福を祈ります。御出席皆様によろしく。
- 前田 寿(S16学11) 特別変りなくやっております。体調はこのところ最高です。ジョギング(4km)を続け、週2~3回はプールに行っています。俳句を同期の平井兄に教えていただいたのですが、どうやら1年続きました。
- 山川 初雄(S18学8) 前略、今年も天候が不順の様で梅雨明け直後、長崎地方の大水害があり、丁度、小生大学最後の年の六甲山の山崩れと同じ様な被害だったことを連想し、心痛む想ひでした。小生相変らず達者でやっています。
- 尾上 信三(S17学12) 今年8月に停年退職しました。現在は療養中です。皆様のシーズン・オフの健康・体力造りを願い、来シーズンの御健闘を御期待致します。
- 上田 宇一(S18学13) いつも御連絡いただきまして有難うございます。折悪しく議會開會中ですので欠席致します。本年度は御案内の好成績で今シーズンを終了されお目出とう。今後共頑張ってください。S59年わかかさ国体がありいそがしくしております。
- 富中 暁(S18学13) 休暇、旅行、出張で8月中さぼってしまったヘルスクラブの水泳とサウナにこのところ連日精勵し復調に努めていますが、シーズンもよいため毎晩のアルコールの量がどうしても増加し、この点は注意しなければと自戒中です。
- 古川富貴男(S18学13) 皆様によろしく益々の活躍を祈ります。
- 井上 清(S19学14) 今年度の輝かしい戦績おめでとう。いつも欠席ですみません。御集會の皆様によろしくお伝え下さい。
- 君塚 英男(S19学14) 来年四月三菱商事を定年退職、トーヨー・サッシにうつりました。
- 今井 政一(S24専1) 常々泳ぎたいものとは思ながらも仲々実現せず。皆さんの立派な成績報告を受け同慶に存じている次第であります。

- 佐藤 鷹平(S25学20) 仲々に強い水泳部、うれしい限りです。当社井川先輩を始め結構水泳部OBは頑張っています。出席できず(いつも乍ら)やはり残念です。
- 石井 義章(S27学22) 今シーズンこの素晴らしい活躍をお喜び申し上げます。月見の宴で皆様に会えるのを楽しみにしております。
- 山田 幸男(特) まだ静養中で今度も欠席をお許し下さい。皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。
- 田淵 五郎(S30B3) 史上最強の歴史を残された現役一同本当に御苦労様でした。月見の宴の機会に又来年一段と飛躍のための体制固めをお願いします。三商大50回記念大会には、記念誌への寄稿だけで済みませんでした。運営に御苦心されたOB、現役諸氏に厚く御礼申し上げます。夏バテで前立腺炎など煩いでしたが癒りました。年末に習市野市に転居の予定です。
- 堂本 直正(S30T3) 4月上旬より福岡住い、6月東京出張時に同窓田淵、榊原兄と会いました。8月6日福岡凌霜会と福岡KTC合同の懇親会あり、小生も初出席、40名余りの方々と一緒に楽しく一夕を過ごしました。8月21日大分県中津市在住の同窓溝口兄、福岡迄来てくれて一緒にゴルフをしました。20数年振りの再会でした。水は遠くなりけり、時々海釣りに行くだけ墮落した河童です。
- 松田 司郎(S32J15) 8月8日~19日ロスアンゼルス在住の同級岡田宅へ娘2人連れて訪れサンタモニカの海岸へ行きましたが、冷たくて海岸の温水プールで泳ぎました。今年はすばらしい成績で皆様も御苦労様でした。出席の諸兄姉によろしく。
- 山本 哲弘(S34B7) 御無沙汰ばかりで申し訳ありません。皆様によろしくお伝え下さい。
- 小郷 譲(S35B8) 我々の頃より相当レベルアップの模様、お慶び申し上げます。今后共御健闘をお祈り申し上げます。
- 永野 一彦(S35E8) 三菱商事ルーマニア支店に駐在致しております。永野カヨ(母)
- 野田 浩志(S36B9) 去る9月6日、アメリカロスアンゼルスへ転動しました。未だ住居が決定しておりませんので、追って御通知致す事と思います。(連絡先)明石市上ノ丸3-3-3 西井宛
- 岡田 重義(S37B10) 今年の三商大戦では私共のクラス以来20年振りにポロにも勝ち完全優勝の感激をと期待したが全く残念でした。ポロは競泳と異なりチームプレーですから全員の基礎テクニックが揃った上でのフォーメーションが必要です。来年は時間をつくり打倒一橋の手伝いをさせて貰います。気のきいた神大流のポロをやりましょう。寒の間の基礎トレーニングのメニューも充分研究して下さい。
- 米田 啓祐(S37P10) 旧三商大戦の記念大会の運営など諸先輩、現役のみなさんに大変お世話になりました。
- 萩原 武(S37T10) 今シーズンの輝かしい戦跡と凌泳会の隆盛、三商大戦50回記念大会の盛会を心から御喜び申し上げ、粉骨御苦労なさって下さった皆様に御礼申し上げます。八幡に転動して1年半になりますが不景気の時代に幸か不幸か業務は甚だ多忙で土、日も満足に休めな

- い状態が続いています。幸い健康と体力には恵まれ、毎日なんとか切り抜けています。月見の宴の盛會を祈っています。御参加の皆様にとりかよろしく御伝え下さい。敬具
- 高岡 保宏(S37P10) 本年度は大変良い成績でおめでとうございます。特に兵庫県地元在住の我々にとっては兵庫インカレでゆるがぬ王座を占めたことは大変うれしく心強く感じます。さて、十五日は所用の為出席出来ません。皆様によろしくお伝え下さい。
- 鈴木 正弥(S39E12) 下記に転居いたしましたから御通知いたします。
- 5 lookout place Ardsrey Westchester N.Y.10502 U.S.A
- 武政 英幸(S39B12) 残念ですが東京出張予定です。晴天のよいお月見になるようお祈りします。
- 丸山 昱也(S40T13) 素晴らしい成績おめでとございます。皆様の努力の結果ですネ。来シーズンも……ノ
- 前田 和秀(S40J13) この度、福岡へ転勤となりました。日本開発B/K山田貴彦様とは同じビルです。
- 木下 雅浩(S41B14) 現役諸君の堂々たる成績には感心しています。今後とも活躍を期待しています。小生、9月より別記住所に転居しましたのでお知らせします。
- 真喜志好一(S41T14) 御活躍の様子なによりです。関西インカレ1部には何年に昇格したのですか。随分強くなったものですね。御集りの諸兄によろしく。
- 阿部 洋三(S42T15) 先日社内水泳大会で50m平泳を泳いたら 37"0で泳げました。相も変わらず週3回泳いでいます。(合計約3,000mぐらい)練習では100m Bu 1-16~1-17, 200m Fr 2-45~2-50といったところです。
- 玉置 明(S45E18) 札幌へ来て間もなく2年になりますもうすっかり慣れ公私共に元気でやっています。月に2~3回温水プールで泳いでいます。8月28日に札幌市西区区民水泳大会(30才以上)に出場、優勝しました。(50m自由型タイム29秒8)何か機会でもあれば六甲台にも顔を出したいのですが、今回は残念です。
- 井上 史明(S45B18) 現在、長野県担当セールスをしています。東京に来て1年ですが東京はよく知りません。この7月~8月は観光客が2,000万人と減り、景気はよくありませんが毎日観光地をドライブしながらウィスキー、ビールを販売しています。
- 小林 育夫(S46T19) 現役部員の皆様の御活躍心より喜び申し上げます。私は社内の水泳部にて月2回程度チャブチャブ泳いでいます。
- 佐敷 定雄(S49A22) 今シーズンの皆様の活躍で京大etcの大学に追われる立場になりました。金主将&4回生ごころう様でした。長崎新主将のもとで、さらに強い神大水泳部になって下さい。そして練習して下さい。そして又OBを喜ばせて下さい。やさしい監督より
- 家本 博一(S49E22) 部の成績が本年とくにすばらしく嬉しく存じます。私の方は名古屋の地で、ソ連、東欧の経済を研究しています。相変わらず元気です。
- 瓜生誠二郎(S50E23) 本年度の好成績おめでとウ! 東京で試合のある時しか応援に行けず

- に申し訳ないと思っていますが、この昇り調子を崩さぬよう頑張ってください。今年10月に結婚します。出席の皆様によろしく。
- 野田 叔子(S51P24) 届いた乗書を見るなり「優勝」という字がたくさん飛びこんできました。すばらしい成績おめでとございます。15日はテニスの試合がありうかがえません。今年は四年生の担任となり子供と一緒に一生懸命勉強しています。
- 小林 正文(S52E25) 6月に長男が誕生し、毎日風呂の中で泳ぎの練習をさせています。
- 佐藤 弘之(S53T25) 9月末には松本(長野)へ転勤の予定ですので15日はぜひ参加したいと思っています。
- 平石 康(S53P26) 関国優勝、全国2位とは、ずっと我々の時代からの悲願であり夢だった、それをなしたのだから神大水泳部の実力は今最高潮といっているくらいだ。今の黄金期を末永く続けてほしい。オメデトウ。本当にオメデトウ。セッサは、今シンドウテ、シンドウテ、肉体的疲労と精神的疲労が重なり、ダウン寸前、幹部の人、とにかく1年ごくろうさま。
- 塩浜 英二(S53T26) 9月11日に公団へ引っ越します。1人暮して栄養失調になりはしないかと心配しております。そんな訳で月見の宴には参加できませんが、学園祭には行きたいと思っています。皆さん来年も頑張って下さい。
- 後藤 信人(S54B26) 本年度の現役諸君の戦績を見、昨年の公約を軽く果たし、まだ力余るものを感じます。OB会としての凌泳会も現役に負けぬ様、より一層の団結をし水泳部への援助を強力に行うべく提案致します。小生東京に来て8ヶ月、東京凌泳会の催事にもおさそい下さい。
- 杉山 和弘(S55A28) 今年は一度も応援に行けずどうもすみませんでした。白浜に来られる時は是非寄って下さい。
- 中尾 稔(S55J28) 今年はとうとうプールには1回しかいけませんでしたが。早くも来年の夏が待ち遠しい思いです。今回は残念ながら仕事でいけません。皆さんによろしく。
- 慈幸 弘樹(S57P28) 好成績おめでとございます。来シーズンもこの調子でがんばって下さい。
- 森鼻 隆夫(S56P29) 素晴らしい戦績にとても感激しました。本当におめでと。これからの活躍も期待しています。教師2年目で毎日頑張っております。皆様によろしくお伝え下さい。
- 山本 隆(S56E29) 輝かしい戦績に心からの賛辞を送ります。私も皆さんに負けぬよう来シーズンは100M58秒台を目標にして頑張りたいと思います。
- 亀井 尚之(S57T29) 6/20~8/20まで販売実習(休日は木曜日だけでした)に行っていました。試合には全く行けず、申し訳なく思っております。現在は工場実習ということで9月いっぱい門真で冷蔵庫を作っています。
- 富岡 洋三(S57B30) 10年間御無沙汰していた海水浴に、今年は2回行ってきました。
- 後藤 芳光(S57E30) やっと社内失業も終りを告げ、9月から固定資産を担当しています。本年度の成績で大分「優」の数が増えたことを非常にうれしく思います。今後ともしっかり頑張ってください。

- 白子 靖則(S57B30) 素晴らしい戦績おめでとございます。オフの間も練習を怠らず来シーズンもがんばって下さい。私の方は運動不足で体力低下に悩まされていますので、スイミングスクールにでも行こうかと思っています。
- 辻 陽子(S57P30) 素晴らしい戦績、おめでとございます。そして四年生の皆さん御苦勞様でした。水泳も勉強も遊びも学生時代にしかできないこと、精一杯やっておいて下さい。社会人一年目はかなりハードですよ！
- 寺尾 紀子(S57P30) 休みが日曜しかなく、忙しい毎日です。今年の夏は海とプールに1回ずつ行ったきりで、とんと泳げませんでした。水が恋しい~~~~！
- 藤田 弥門(S57準) 大変遅れてすみません。仕事が忙しくて行けなくて(本当に行きたかった)こっちでその分、皆で飲んでました。今年の場合特にデミング賞(⊕QCの賞)の審査が9/13, 14でんでてこ舞いでどうしても翌日神戸に行けなかった。来年は採用活動もそっちのけで行きたいと思いますのでよろしく！PS本当になんか忘れかけたころに出してすみません。

現役部員寄稿

主将としての提言「現状を打破せよ」

主将 長崎 真人

皆はこのチームに満足しているか。去年の戦績、そして自分のタイムに。皆、「いったい何を言っているのだ、全国国公立戦2位、関西インカレ6位入賞、関西国公立戦優勝、その他にも…、この上何が不満なのか。」と思っているかもしれない。確かに昨年度、我々神大水泳部は目覚ましい活躍を遂げた。個人的にもベストタイムが続出した。他の大学の水泳部に対して、そして神大の他のクラブに対しても、大きな顔ができる。だが私は今だからこそ言いたい、現状に満足するな、現状を打破せよと。

全国国公立戦にしても、1位の筑波大学には大差をあけられたのだし、関西インカレにしても、5位との差はまだ大きい。これらの差をつめ、そして追い越そうとすべきだ。現在の状態にプライドを持つのは大いに結構だ。だが現状に満足するのではなく、さらに上の段階へ飛躍するためのステップにすべきなのだ。

それでも、「練習量も違し、自分達の大学には推選入学制度もない、勝てるはずがないじゃないか」と言うかもしれない。しかし、そこであきらめて、現状を肯定するのではなく、フォームを観察するなり、ストローク数を数えるなどして、なぜ彼らは自分よりも速いのかを考えて欲しい。幸い、我々は関西インカレ1部や、全国国公立戦でトップスイマー達の泳ぎを見ることが出来る。さらに練習中でも他人の泳ぎを見て、良い所とはとり入れ、悪い所は自分もそんな泳ぎをしていないか考えることができる。誰でも自分のタイムが伸びれば楽しいだろうし、やり甲斐もあろう。タイムが伸び悩んだ時、どうしてもライバルに勝てない時、ただがむしゃらに泳ぎ込むのではなく、なぜそうなのか、自分の泳ぎとどこが違うのか、速くなるにはどうすれば良いのかを考えてみる必要があるのではないだろうか。ただタイムを争うだけの練習でなく、頭を使った練習こそ、有意義な練習であるだろう。

いくら厳しい練習でも、毎日それをただ黙々とこなすだけでは、時間の無駄使い以外の何物でもない。「なぜこんなしんどい思いをしなければならないのか、楽しんで遊ぶ事だってできるのに」と考える時、一度なぜハードな練習が必要なのか、自分は何のために練習するのかを考えて欲しい。その上でなお練習に納得できなかつたり、チームのあり方に不満があれば、何も遠慮せずに堂々と語りべきである。それがチームのためになり、自分自身のためにもなるのだから。我々は大学生である。中学生や高校生のようにコーチに言いつけられた練習にただただ従う時代は過ぎたのだ。チームが何をしてくれるのかと考えるのではなく、自分はチームのために何をすれば良いのかを考えて欲しい。

私は現状を打破し、より高い目標をめざすという信念に基づいてチームを引張っていくつもりであ

る。だがチーム全体としての力は部員1人1人が、自分は今、チームに対して何をすべきか、どうすれば自分にとって、そして皆にとって最良のチームになるのかを考え、実行していくにかかっている。部員1人1人が自分のチームだと考え、より高い目標へ向かおうとするチーム。そんなチームが私の理想である。

水球のレベルアップのために

副将 吉岡宏之

「好きこそものの上手なれ」という言葉がある。名言だと思う。水球において、誰しも始めた当初は初心者であって、レベルの差というものは水球に対する執着心の差なのである。うまくなりたい、勝ちたいと思ふことこそがレベルアップの源泉となるのであってそれが自ら水球を知り、他人のプレーを自分に取り入れ、自らに合ったテクニックを開発していこうとする姿勢につながっていくのだと思う。しかし我々がレベルアップを目指すにはあまりに練習時間が少なすぎる。従って、最低限の時間から最大の効果をあげなければならず、そのためには気を抜く暇などあってはならないのだ。例えばシュート練習の順番を待って並んでいる時でも、ボールを手につける練習をしたり、次のシュートを頭に描くなどしたりして時間を最大限利用していかなければならない。又一日の練習の中で、せめてワンプレーでも学びとろうというような目的を持って練習に臨むというのも重要なことである。このように、競泳に練習時間を制限されて、なおかつ水球をやらねばならない我々にとって、時間をいかに有効に使うかは大きな意味を持つてくる。無駄な肉は、落としていかなければならない。人を沈めて喜んでいたり、ボールを浮きにしてブカブカ浮んでいるような姿は無くなるべきである。幸いにも我々は、昨年の関ボロJrで優勝することができた。しかしそれは我々のレベルアップにより得られた勝利ではないことを肝に銘じ、昨年よりも一段階進んでいくためにも、各自が練習時間をフルに活用してくれることを期待する。そして昨年の輝かしい戦績の中で、ついに達成することのできなかった関ボロ優勝、打倒一橋を、今年は何んとしても成し遂げなければならない。

現役部員紹介

これは二回生が見た、部員の偽わらざる姿です。尚、他の回生に、一切責任はありません。

○川原田 貢(P34) まさに昨シーズンの神大黄金期を支えた一番の立役者、期待どおりのスーパー・ルーキーである。偉大な先輩のプレッシャーにも屈せず、数々の大会で優勝をさらい、歴代記録を塗りかえた。しかし、昨秋から下宿を始めた彼は、みるみるうちにやつれていき、現在の生活状況は、かなりの乱れ様だと聞く。悪い遊びを覚えて体をこわさないように、くれぐ

れもご注意を。

- 黒川 良介 (E 34) 背のような手足をギクシヤクと動かし、少しガニ股風で歩く大変運動神経の発達している人物。初心者として水泳を始め、彼の努力には人を感動させるものがある。専門種目は未定。背泳での期待も大きいのだが、彼の希望はなぜかロング面。身边には常に彼の気がつかないひょうきんさが漂っていて、ぼーっと見ていると飽きることも無い便利な人物。当然ながらコンパではいつも人を笑わせてくれる。
- 松居 敦史 (A 34) 敬語の知識が全く無く入部当時、皆のひんしゅくを買った。一回生でありながら主将を「長崎君」と呼ぶ彼の肝魂には脱帽させられる。練習も要領悪くさぼるため、チームの憎まれ役を一人で買い、部員のうっ憤を晴らすのに役立っている。専門はブレであるが、二バタのレースで何回彼を見たであろう。今年はブレの活躍に期待したい。
- 泉谷信一郎 (B 34) シーズンオフになって我が神大水泳部に、ひょっこりと一回生の新人が入ってきた。人数の少ない一回生達が、狂喜狂乱したことは、いうまでもない。入部してすぐ、ブレ六甲祭や六甲祭のゲームで生卵を頭からかぶったり、瓶でみそうどんを食わされたり……だが彼は、くじけなかった。この根性と脂肪で、来年は、2バタ・ロングを泳ぎきってくれることだろう。M君とのコンビも好調である。
- 木村 典子 (P 34) さんざんダダをこねたあげく、いささか衝動的に入部した彼女ではあるが、この一年間のタイムの伸びには目を見張るものがある。今年もはるばる奈良からの通学にもめげず、記録を更新させることを期待したいところ。しかし、コンパでお酒が入るたび、わけもなく泣きじゃくり出すあのかわいらしさで、三大学をまたにかけての、彼女の「男殺し」は意外に知られていない。
- 太田久美子 (L 34) あの太田さんの妹である。マネージャーながらほとんど毎日クラブに出て頑張るチームの士気を盛り上げてくれている。コンパでは2回生U子氏とコンビを組み「狂乱娘」として2次会、3次会とついて回り、得意の流し目で「私、まだ飲む」といながら酒を飲む姿には愛嬌でなく酒への執念を感じる。又試合場でゴロゴロ昼寝をするのも特技の一つである。
- 小島 みか (T 34) KOBE UNIV スイミングチームとは選手とマネージャーが一体となって戦う最強チームのこと。目立たないがなくてはならない女子マネージャーの一人である彼女は、水泳の経験はないがその誠実さでもって確かにマネージャーとしての成長を遂げています。友近さん無きあとを受け継いで、彼女は神大女子マネージャーの心意気を見せてくれるこ

とでしょう。

○吉田不二彦(B33) 京大、阪大、滋賀大と、交遊半径は大変広い。一見、プレーボーイ風で、誰にでも声をかけるので、少し軽薄っぽく人の目に映るが、実はとても軽薄。しかし経済観念がしっかりしており、神経の細かい所もあってあちこちに気を配り、主務には、最適の人物である。毎年、様々な事件を起しているが、今年はどんなことをしてくれるか楽しみな人です。

○土井 健治(E33) 夏は「あつわー。」冬は「さむわー。」練習のあとは「しどわー。えらわー。ねたわー。」というように独特な感情表現がとび出す。(筆者はこの言葉になれるまでまる二年かかった。) 昨年の六甲祭では救急車を呼んだ程、酒ぐせの悪さでは坂田氏に次ぐ存在である。また彼のジャリコは重傷で、対象は3才~6才までのスイミングギャルというから驚き。筆者は彼を理解するのにあと二年はかかりそうである。

○舛井 明寿(T33) 月収20万という水泳部内の経済力№1で通称「坊っちゃん」といわれる彼はいつも気前よく車に乗ってくれる親切な人です。ポルノ映画と水泳が趣味というこの人も長崎さん引退後、正キーパーとして神大のボロを支えます。顔でボールを受けながら、「切れて/ 切れて/」の名文句でがんばってくれることでしょう。

○南 宏尚(M33) 神大水泳部のオッサン南君である。最近、たまにふらっとクラブにやってきて体がなまっただ、とって運動して帰るのである。夏は、高校のプールでは快記録を出しているそうであるが、ついに我々の前でその勇姿を見せることはなかった。医学部で忙がしい。宗教上日曜日は練習に來れないし試合にも出れない。ますます老けこむ要素しかない彼は、果たして今年我々の前に登場するのであろうか。

○南谷 昌宏(P33) 本当は心優しき中学のコーチなのであるが、一見するとどうしてもチンピラヤクザ、彼に指をさされて「アンタナー」と言われると、その後彼の明石井でまくしたてられ、こちらが何も言えなくなってしまう。彼の権利の主張は見習い価値が有る。最近はずっかり中学校のコーチであり、中学生に興味を示しているようだ。こんなことを書くと又「ダボッ!」と怒られそうな気がする。

○池辺 正雄(E133) 昼は公務員、夜は学生、かくしてその正体は、山城新伍の上をいく遊び人。娯楽といえば池辺、池辺といえば娯楽と、梅田を中心に行動する彼は、まさに娯楽の行動派、誰もがあきれるようなことでも平気で実行に移す。芸のない三回生の中でコンパではまさに、ビールに枝豆、吉田に女、坂田に酒、もひとつおまけに、舛井に現金というように、切り離して考えることのできない存在である。

○坂田 純孝(J33) 小学生のころから「スイミングスクール」で泳いでいたというベテランスイマー。プロレスラーの体格で泳ぐパワフルなバックは「ノーブレバック」といわれるほど顔が出ていませんが、まさに水泳が力であることを感じさせてくれます。最近ではセリカを購入し、口ぐせのように「ドライブ行かへんか。」と、ギャルをさそっては六甲山のヘアピンカーブに酔いしれる今日このごろです。ホー、なーほど。

○浦野 敏明(B33) 言ひまでもなく彼は、神大ゲテもの面のエースである。その顔からは、二バタ・四個メを泳ぐなんて考えもつかない。タオルを頭に乘せて、温泉の中につかっている方が似合っているように思えてならないのだが……また、ポロでも少しばかりうまいという。世の中わからないものである。また、彼はS氏同様、きまえがよいので、下級生は常に尾行すべし。

○坂東 美枝(P33) 男まさりのその体力と根性は、誰もが認めるガッツウーマン。神大女子メンに坂東ありと、関西水泳界にその名を誇る彼女も三回生となり、今や、姉御的存在。水泳部で生き残ろうとする下級生ならば彼女にさからうことなかれ。そんな彼女も、今はルンルン気分の真只中。周りからは羨望の的なのです。

○川島 えみこ(P33) 昨シーズン、関西インカレで見せた二百ブレ決勝のラスト25mでの追い込み、余裕の逆転優勝 — いまだにあの時の感動は、筆者の胸に焼きついている。さらに、あの力強さでぐいぐいと大ジョッキを空けていく姿も……。そんな彼女がめっきり女っぽくなったと専らの評判。ちなみに、教育学部へ行くと、仲睦まじき二人連れの姿を必ず見かけるとか……。

○越智 順子(P33) ころころころがっていきそうなその体からはとても彼女が、ピアノをひくなんて思いもよらない。昨年は私も初心者面でご一緒させていただき光栄でした。バタ足のみで泳ぐという彼女の後から泳ぐと、口や鼻から水をはががぶ飲まされ、前に進まず、前を泳ぐと形だけの手が私の足の裏をくすぐるといふ趣味を持っている。しかし、彼女のひたむきな努力は、いつか必ずや報われることでしょう。

○平野 祐子(甲女大) 一昨年のシーズンオフに突如現れたバリバリの南女ギャル。当時、マネージャー不足に悩んでいた我クラブは、彼女を女神のごとくあがめたものであった。シーズン当初、彼女のはつらつとした声を聞いて元気づけられた者もあっただろう。しかし、シーズンが終わって彼女を見たものはいない。彼氏ができたのであろうか、でもK子とのコンビは不滅である。

○小田 ゆかり(近大) 神大水泳部マネージャー陣が手薄なのを心配して、マネージャーとして働らいてくれているありがたい人である。部員の一部が、オバサン、オバサンと言うがそのと

おり家に帰ればまさに家庭の主婦というのが彼女である。所帯じみてるわりには、遊園地に行こうなどと言うが、それはブリッコを決めこんでいると筆者はみる。今年の彼女の活躍に期待!

○呉竹 正人(J 32) シーズン直前に、選手引退、マネージャー宣言され、もうあの泳ぎは見られなくなりました。彼のユニークな性格は、今後もマネージャーとしてフルに生かされるでしょう。しかし、部員の中には、彼のマネージャーぶりを予測し、今からビクビクしている者もあるようです。筆者もその一人で、早くもビビっています。「さわらぬ木に茶碗はたたきなすしノ」

○久保田勝己(E 32) 夏の日「大きな山をひとまたぎキング久保田がやってきた…」と皆で歌えば必ず優勝してくれる1,500の覇者で「ドボンボン」という独特のキックの音は忘れられません。長距離の魅力、水泳の喜びを感じさせてくれるすばらしいスイマーです。うってかわってオフの欲望発散も「キング久保田」のようで実に健康的でだらしがありません。諺「おぼれる者はトキワをつかむ。」

○野村 俊彰(J 32) 毎年コンパで狂乱し「こわれたオモチャ」のニックネームを持つ野村さんがどうしたのか今年クラブのコンパで沈黙を守っておられました。が、その反動が出たのか阪急SSのコンパで大狂乱!一夜に2つの警察署をハシゴするという珍事件を起こされました。又汚ない事で有名だった下宿も今は人の住める所になりました。野村さん、飲酒運転にはくれぐれも気をつけて。

○鈴木 利一(T 32) 工学部という暗く苦しい宿命を背負った彼は、毎日が製図との戦いである。レポートを終えて寝床につく頃には朝日が昇り、ろくろく寝もせず講義に実験に出席し、まったく信じられないような毎日を過ごしている。それでも時間のある限り、練習に出てくる彼の努力は賞賛に値する。そしてもう一つ、ねむい目をこすりながら頑張る彼の姿を見る場面がある。それはY氏らと雀卓を囲んだ時である。

○池田 裕二(T 32) 立派な体格、都心の下宿、高級クラブ、海外旅行、プレイボーイ、交通事故、練習こない、と言えど誰もが認める水泳部の天然記念物池田さんです。初泳ぎの時、原付免停になり今年も期待を集めておられます。時々来られては「あのさー」と話題のつきない人です。

○松野 圭悟(B 32) 自称、洗練されたファッション感覚派。合コンの話題には、いつも登上しておられる。誰からも好かれ、女子面の中には彼のファンも多い。彼のあの独特な雰囲気は、チームのムードをととても和やかなものとする。ロング面に属し、練習も真面目。試合前の彼独自

の調整には、目を見張るものがある。今年もますますの記録の更新、又水球での活躍を期待している。

○長崎 真人(B32) 我がチームの主将、大黒柱、ブレ陣のエース、水球のキーパーである。彼は昨年二度変わった。まず彼女ができてひょうきんになったというのは筆者の気のせいだろうか。新歓コンパの時、手を開いて「春が来た～春がきた～」と踊っていた姿を、今も忘れない。二度目は主将になってからである。性格が再び硬くなり、はりきりすぎの感があったが、余裕の出た今年良きチームのまとめ役として活躍してほしい。

○山野 和則(A32) 現状に満足することを知らないため、その反動は、ぐちとなり、貧弱な胸毛となって表れている。また、あの大きさな驚きもしかり。主婦の性格は、スーパーめぐりをさせ、恋愛話に多大な興味を持たせる。繊細な顔とは裏腹に、隠れ呉竹とも言える性格をもち、彼と仲が悪かったのも今は昔。競泳では、全てをかなりのタイムで泳ぐのだが、器用貧乏の傾向。今年、四混に転向したらどうでしょうか、ねー、カーくん？

○吉岡 宏之(J32) 御存知、水泳主任兼、マージャン主任の吉岡さん。私は吉岡さんが考え事している所を見ると口の中で「ニセン、ザンク、チッチ、マンガン」と言っているように思えてならない。又、年上の女性に弱いという一面もあるようだ。ともあれ今年も水泳主任として、そしてバタフライ面の頭としてガンバっていただきたい。

○谷水 利行(J32) 一年間の主務のおつとめごころうさまでした。ゆっくりと京都弁で話されるため、とろいとろいと言われながらも、黙々とたまにギャグをとばし、マジメに仕事してきた彼は主務にうってつけであったと思う。今年も選手としてガンバってほしい。私生活は、かわいくてよく働く彼女もいて非常に安定しているが、彼の今の心配は、次期主務の女くせの悪さ以外にはないであろう。

○藤本 栄美(神女薬大) 薬大というと忙がしいはずなのであるが、授業が終わるとほんの少しでも泳ごうとせつせと六甲台プールにやってくる彼女には頭が下がる。本当に水泳が好きなのであろう。泳ぎに迫力はないが流れるようなフォームである。彼女の泳ぎを支える腕は、昔からブリーデンと呼ばれるように太いのであるが、最近某部員がラリちゃんと呼んでいるのを聞いたが、まさしくぴったりであると筆者も思う。

昭和57年度活動報告

—— 闘魂無き者去れ！ ——

前年度、全国々公立6位入賞、関西インカレ一部昇格、近国体優勝等々、勢いに乗る我がチームは、真の神大水泳部黄金時代を基くべく、前年にもまして、はるかに厳しい姿勢でシーズンにのぞんだ。

まず3月23日から近くの温水プールで一週間の泳ぎ込み、3/29日からは、午前中温水プールで泳ぎ込み、午後は学校にもどり、筋力トレーニングを中心とした陸トレを行なうなど、この時期にしては非常にハードな練習であった。

そして4/5から鳥取県浜村温泉で春合宿を迎えるのだが、例年のないハードな練習と、三月下旬からの厳しいトレーニングの疲れがピークに達していたのが重なり、部員のほとんどが高熱で倒れるという惨事にいたり、三日目以降ほとんど練習できないという悲惨な状況に落ちいってしまった。

しかし新学期開始と同時に、春合宿の失敗をうめるべく、激しい陸トレが開始された。

ストレッチング、アイクネティックトレーニング等、最新のトレーニングを取り入れ連日ハードなトレーニングが行なわれた。

そして五月の連休明けと同時にまらにまったシーズンイン、例年のごとく六甲台の水は冷たかったが、気合一発、水の冷たさもなんのその、練習の初日から、競泳、水球のダブルトレーニング、開始3日目には、水球の紅白戦、10日目には立命大とポロの試合とフルスピードでつき進んでいた。特に5月16日の対立命戦では17対0と圧勝、今シーズンにかける気迫をまざまざとみせつけたゲームだった。

競泳の練習も、はっきりとシーズンを通して8月中旬の全国々公立戦にピーキングした綿密な計画のもと、最新の練習法を取り入れたトレーニングが着々と進んでいった。 (金記)

—— 圧倒的強さを見せつけた京阪神三大学戦 ——

例年この試合は各大学の戦力の探り合いに終始し、主力温存が当たり前になっている試合ではあるが、神大はほとんどの種目を主力中心で固め、2位京大にダブルスコアのぶちぎり優勝であった。特に百M自由形では、金、川原田の主力を欠いても、田中、高城、酒井潤の4回生が、1位、2位、3位独占と、他大学との層の厚さの違いをまざまざと見せつけた試合であった。 (金記)

「京阪神三大学戦」6月6日(日) 於 堺臨海スポーツセンタープール(50m)

• 400mメドレーリレー

神大(吉田・長崎・吉岡・金)
4'39"1 1位

• 400m個人メドレー

浦野敏明 5'44"32 1位
山本 誠 6'40"39 5位
南谷昌宏 6'44"13 7位

• 800m自由型

久保田勝己 10'27"66 1位
松野圭悟 11'10"76 2位
酒井康司 11'31"41 4位

• 200m背泳

吉田不二彦 2'39"29 1位
太田雅彦 2'44"22 2位
野村俊彰 3'07"89 8位

• 100m自由型

田中俊哉 1'04"09 1位
高城俊介 1'06"42 2位
酒井 潤 1'09"40 3位

• 200m個人メドレー

坂田純孝 2'36"59 1位
浦野敏明 2'40"03 2位
吉岡宏之 2'40"80 4位

• 400m自由型

川原田 貢 4'55"76 1位
久保田勝己 4'57"81 2位
呉竹正人 5'30"20 5位

• 200m平泳

山野和則 2'57"68 1位
杉野 誓 3'13"46 3位
長谷川泰造 3'14"73 5位

• 200m蝶泳

坂田純孝 2'39"62
吉岡宏之 2'45"79
谷水利行 2'54"51

• 800mフリーリレー

浦野・金・久保田・川原田
9'20"00 1位

— 総合 —		
1位	神戸大	120点
2位	京都大	70点
3位	大阪大	18点

昭和57年度第一次合宿記

二回生 黒川良介

— 〆根性は科学を駆逐する。 —

梅雨入り宣言もない6月18日、我が水泳部は雨の季節をものともせず合宿に突入しました。強化練習以来のハードスケジュールとあって体調を崩している先輩も何人か(例年のことだそうです)

が)それを押し切ってあの恐るべき冷水に入らんとする根性は常人のものではありません。今年、初心者として水泳界に足を踏み入れた筆者にとって、入部以来、いくら泳いでも体が冷えていく一方という六甲台プールの地獄的苦悩を経験したため、既に性格はゆがみ、急に老け込んで「だんな」と呼ばれるのはまんざらでたためではありません。しかし人生は“気合い”で生きるもの、最も距離が長くいつも食事の時間もおくれるロング面、金さんのいるショート面、中間面、ブレ面、50m 100本×2を堂々こなしたビギナー面まで、まさに“根性は科学を駆逐せん”とする勢いでありました。そして心配された雨をも駆逐し、恵まれたコンディションのもとで充実した6日間を経ます。(休憩時にあっては、とうとう“ストレスでジャリ研を駆逐し”“一回は二回のポケットを駆逐し”“六甲駅の変態出現”にまで……etc)最後に主務の谷水さん、緑の下に徹するマネージャーの方々御苦労様でした。今年の神大水泳部の実力謳歌はまちがいないことでしょう、万歳! 神戸大学水泳部。

——— 無念、涙、涙の関西ポロリーグ ———

前年のポロJr優勝で勢いにのる神大チームは、長年の夢である関ポロ制覇を胸に市大プールへのりこんだ。特に高城、太田、長谷川ら4回生らを中心としたこの試合にかける執念は異常ともいえるくらいで、数日前からピリピリした空気がチームをつつんでいた。

対立命一回戦、前の練習試合で大勝しているせい、全員にゆとりが感じられたが、第一クォーター金主将の初得点から、そのゆとりが、慢心へとかわるのにそう時間がかからなかった。立命戦は勝つには勝ったが、後半は少しだれきみで、これが次の京大戦に大きく影響するとは夢にも思わなかった。

対京大決勝戦、第一、第二クォーターと息づまる試合が展開された。しかし、第三クォーターのまったく思いがけないバックスのミスからチーム全体が、がたがたと崩れだした。得点差はどんどん広がり、あせるフォワードはシュートミスをくりかえし、もっとも冷静沈着であるべき主将金は、完全に頭に血がのぼり、無茶なロングシュートを連発、まったくもってゲームにならず、京大に一敗地にまみれたのであった。

敗因としては、色々考えられるが、一番大きなことは、ゲーム全体の流れを冷静に読みとるチームリーダーの欠如と思われる。

後輩諸君に、4回生の無念をはらすべく失敗をくり返すことなく奮気してもらいたい。

(金記)

「関西水球リーグ戦」6月27日 於 市大プール(50m)

第一試合

神大	Q	立命館大
3	I	0
4	II	1
1	III	1
1	IV	2
9	計	4

メンバー

1. 長崎 真人
2. 吉岡 宏之
3. 長谷川泰造
4. 太田 雅彦 (1)
5. 金 一波 (1)
6. 浦野 敏明 (4)
7. 山本 誠
8. 酒井 康司
9. 高城 俊介 (2)
10. 久保田勝己 (1)
11. 谷水 利行
12. 野村 俊彰

第二試合

神大	Q	京大
1	I	1
2	II	3
0	III	1
0	IV	5
3	計	10

メンバー

1. 長崎 真人
2. 吉岡 宏之 (1)
3. 長谷川泰造
4. 高城 俊介 (2)
5. 金 一波
6. 浦野 敏明
7. 山本 誠
8. 酒井 康司
9. 太田 雅彦
10. 久保田勝己

堂々のV3兵庫インカレ

本格的な競泳シーズンの幕あけをつけるこの試合は、今シーズンの成績を占う上でも大切な試合であった。

しかし、練習計画として、次の週の関西国公立戦にテーマをかけていたため、全体的に記録は低調であった。特に黄金のルーキ川原田の本格的デビュー戦は、甲南大の新人不破に破れる惨々たるもので、神大のエースになるにはまだまだ若さが感じられた。しかしその中でも、平泳ぎの長崎の活躍はすばらしく、まさに、神大に長崎ありを印象づける試合であった。

得点争いでは、2位関学、3位甲南ともども、得点計算するまでもなく、圧倒的に引き離しぶっちぎり優勝でV3をかざったのであった。

(金 記)

「兵庫インカレ」7月4日(日) 於 神戸西代市民プール(50m)

〔男子〕

・400mメドレーリレー

吉田・長崎・吉岡・川原田

4'32"2 1位

・400m個人メドレー

坂田 純 孝 5'40"7 1位 大会新

浦野 敏 明 5'43"5 2位

• 200m自由型

川原田 貢 2'16"7 2位

呉 竹 正 人 2'24"8 4位

• 100m背 泳

吉 田 不 二 彦 1'12"8 2位

太 田 雅 彦 1'13"7 3位

• 100m平 泳

長 崎 真 人 1'15"1 1位 大会新

山 野 和 則 1'17"8 3位

• 100m兼 泳

吉 岡 宏 之 1'06"7 2位

谷 水 利 行 1'12"8 4位

• 200m個人メドレー

坂 田 純 孝 2'34"8 2位

浦 野 敏 明 2'37"8 3位

• 200m背 泳

吉 田 不 二 彦 2'45"4 2位

太 田 雅 彦 2'46"7 3位

• 100m自由型

川原田 貢 59"2 2位 大会新

金 一 波 1'00"2 3位 大会新

[女子]

• 400m個人メドレー

坂 東 美 枝 6'11"7 1位 大会新

• 200m自由型

藤 本 栄 美 2'36"2 1位

• 200m平 泳

長 崎 真 人 2'43"7 1位 大会新

山 野 和 則 2'52"5 4位

• 400m自由型

久保田 勝 己 4'47"0 1位 大会新

酒 井 康 司 5'14"2 3位

• 200m兼 泳

吉 岡 宏 之 2'46"0 3位

谷 水 利 行 3'01"8 6位

• 800mフリーリレー

金・久保田・浦野・川原田

9'08"9 1位

• 1500m自由型

久保田 勝 己 19'21"6

松 野 圭 悟 21'11"5

— 総合 —

1位 神戸大 126点

2位 関西学院大 71点

3位 甲南大 64点

4位 神戸商科大 22点

5位 神戸商船大 20点

• 100m背 泳

越 智 順 子 1'53"3 3位

• 100m平 泳

坂 井 美 奈 1'29"3 2位 大会新

川 島 え み こ 1'37"4 4位

• 200m背泳
越智順子 3'58"9 3位

• 100m自由型
坂井美奈 1'11"0 1位

• 200m平泳
川島えみこ 3'23"3 3位

• 400m自由型
藤本栄美 5'39"5 1位

• 200m蝶泳
坂東美枝 2'48"1 1位 大会新

総合		
1位	武庫川女子大	115点
2位	神戸大	29点
3位	神女薬大 } 松蔭短大 }	12点

—— 23年ぶりに勝ちとった関国優勝 ——

今年の最大の目標の一つである関国優勝を果たすべく我がチームは京大プールにのりこんだ。昨年の近国体では圧倒的な層の厚さを見せて優勝していたものの、関ポロで屈辱的な敗北を喫していた我がチームは何としても京大を打ち負かすんだという決意のもとに関国戦に挑んだのであった。

まず最初の決勝レース1500自で3回生久保田が優勝候補の大府大大前に大差をつけて優勝。彼のガッツポーズでチーム内の士気は一気に盛り上がった。さらに200自で黄金ルーキー川原田が1位、100自では川原田と金主将が1、2位を独占。400継では関国史上初めて4分を切る大会新を記録するなどフリー陣が圧倒的な強さを見せチームの得点源となった他200平での長崎の優勝をはじめ各種目ごとに着実に得点を積み重ね、リレー種目では全て優勝と、選手層の厚さを十分見せつけた。特にブレにおける山野の健闘に見られるようにチーム全体が盛り上がりを見せて勝ちとった23年ぶりの関国優勝であった。

逆に女子の方は坂東・川島の活躍に加えて新入生木村の健闘もあったものの層の薄さを痛感した試合であったと思う。
(吉岡 記)

「関西国公立大学戦」7月10日(土) 11日(日) 於 京大プール(50m)

[男子]

• 400m個人メドレー
浦野敏明 5'36"3 3位
吉岡宏之 5'43"1 4位
長谷川泰造 7'10"6

• 1500m自由型
久保田勝己 18'43"70 1位
酒井康司 21'33"9
松野圭悟 21'07"9

• 200m自由型

川原田 貢 2'11"28 1位
 金 一波 2'16"5 4位
 田中俊哉 2'37"5

• 200m蝶泳

坂田純孝 2'33"4 2位
 谷水利行 2'52"8
 野村俊彰 3'13"5

• 200m背泳

吉田不二彦 2'38"9 4位
 太田雅彦 2'43"2
 酒井潤 3'23"6

• 200m平泳

長崎真人 2'44"14 1位
 山野和則 2'52"7 5位
 南谷昌宏 3'00"0

• 400mフリーリレー

吉田・久保田・金・川原田
 3'59"5 1位 大会新

• 800mフリーリレー

浦野・金・久保田・川原田
 9'01"8 1位 大会新

• 400mメドレーリレー

吉岡・坂田・長崎・川原田
 4'29"2 1位

• 200m個人メドレー

坂田純孝 2'34"7 3位
 浦野敏明 2'36"6 5位

• 400m自由型

久保田勝己 4'45"4 2位
 松野圭悟 5'12"7
 酒井康司 5'19"4

• 100m自由型

川原田 貢 58"2 1位 大会新
 金 一波 59"7 2位
 呉竹正人 1'04"9

• 100m蝶泳

吉岡宏之 1'06"6 3位
 谷水利行 1'14"6 8位
 杉野 誓 1'32"5

• 100m背泳

吉田不二彦 1'11"2 3位
 太田雅彦 1'13"6 6位
 野村俊彰 1'20"0

• 100m平泳

長崎真人 1'16"5 3位
 山野和則 1'17"2 4位
 池辺正雄 1'21"4

総合

1位	神戸大	101点
2位	京都大	86点
3位	大府大	44点
4位	大阪大	35点
5位	滋賀大	} 12点
	神戸商科大	

[女子]

• 400m個人メドレー

木村典子 7'16"9 3位
越智順子 9'32"3 4位

• 200m蝶泳

坂東美枝 2'45"96 1位 大会新

• 200m背泳

石本日和子 3'40"5 6位

• 200m平泳

川島えみこ 3'19"8 2位

• 200mフリーリレー

石本・坂東・川島・木村
2'22"1 3位

• 400mメドレーリレー

石本・川島・坂東・木村
5'46"43 2位

• 400m自由型

坂東美枝 5'33"3 1位
小井戸路代 8'18"8 8位

• 100m自由型

木村典子 1'18"0 4位

• 100m蝶泳

越智順子 2'30"1 5位

• 100m背泳

石本日和子 1'36"6 6位

• 100m平泳

川島えみこ 1'37"1 4位

• 400mフリーリレー

石本・坂東・川島・木村
5'21"7 3位

— 総合 —

1位	京都教育大	62点
2位	大阪教育大	57点
3位	神戸大	49点

——— 競泳は圧勝、水球は辛勝 対市大戦 ———

第63回対大阪市大戦は、7月18日大阪市大プールにて行われた。前日、3回生の久保田が交通事故で入院したのだが、そんな心配を晴らすように、競泳は選手層の厚さに物を言わせ全種目制覇は逃したものの圧勝した。

しかし、水球の試合の直前にコントロールタワーである浦野が倒れ、相続く事故に浮き足立った我々は、前日、茨木高校と試合した時とは違って変わり攻撃は遅くなかなか得点をする事ができず、5対4で勝ったもののあと味の悪い試合になってしまった。

試合後のコンパは例によって狂乱を極め、またしてもいわし亭へとなだれ込んで行ったのだった。
(長崎 記)

「市大戦」7月18日(日) 於 市大プール(50m)

• 200m個人メドレー

浦野敏明	2'45"95	1位
太田雅彦	2'54"00	3位
松居敦史	3'33"56	6位

• 800m自由型

松野圭悟	11'03"9	2位
酒井康司	11'06"4	3位
鈴木利一	12'44"58	5位

• 200m蝶泳

吉岡宏之	2'45"2	1位
金一波	2'58"0	2位
谷水利行	3'25"7	5位

• 100m自由型

田中俊哉	1'05"3	1位
池田裕二	1'10"2	2位
土井健治	1'17"0	4位

• 200m背泳

坂田純孝	2'40"1	1位
吉田不二彦	2'50"1	2位
野村俊彰	3'07"84	4位

• 400m自由型

川原田 貢	4'59"9	1位
黒川良介	6'49"7	5位
舛井明寿	6'54"5	6位

• 200m平泳

長崎真人	2'47"7	1位
山野和則	2'59"7	2位
南谷昌宏	3'01"0	3位

• 800mフリーリレー

坂田・吉田・松野・川原田	9'40"4	1位
--------------	--------	----

総合

1位	神戸大	108点
2位	大阪市立大	69点

神大	Q	市大
1	I	0
3	II	0
0	III	3
1	IV	1
5	計	4

メンバー

- 長崎真人
- 長谷川泰造
- 吉岡宏之 (1)
- 谷水利行 (1)
- 金一波 (1)
- 太田雅彦 (1)
- 高城俊介 (1)

盛大に行われた旧三商大戦

旧三商大戦は今年50回を迎え、記念大会として本大学当番校の下に六甲台プールで二日間に渡って盛大にとり行われた。

第一日目は水球が行なわれた。今年こそ何としても打倒一橋を果そうと関関が終わってからは、水球にウエイトをおいて練習を経て試合に挑んだ。試合は息の詰まるような接戦となった。そして神大は一度はリードしたものの最終的には1点という差に涙をのみ、またしても一橋の壁を破ることはできなかった。一方で点差は1点ではあったが個人技の点ではまだまだ及ばないということを感じさせられた試合でもあった。来年こそ一層精進してプレーに磨きをかけ打倒一橋を果してくれることを期待してやまない。

一方第二日目に行われた競泳の方はロングのエース久保田の欠場はあったものの戦前の予想どおり圧倒的な強さを見せ神戸大学の圧勝に終わった。

試合後学生会館でOBの方々との現役部員を交えてのパーティが盛大に行われ、その後場所をプールに移しての現役部員のコンパは神大・市大応援団の参加もあって非(異)常な盛りあがりを見せた。

尚この旧三商大50回記念大会開催にあたりOBの方々からの多大なる御支援を頂きましたことにこの誌面をかりて深い感謝の意を表します。

(吉岡 記)

「旧三商大戦(競泳)」 7月24日(土) 25日(日) 於 神大六甲台プール(25m)

• 400mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・川原田

4' 29" 4 1位 大会新

• 800m自由型

松野圭悟 10' 58" 6 2位

鈴木利一 12' 42" 3 6位

• 200m平泳

長崎真人 2' 46" 0 2位

山野和則 2' 53" 9 3位

• 200m個人メドレー

吉岡宏之 2' 34" 9 1位

浦野敏明 2' 37" 1 3位

• 100m自由型

金 一波 59" 2 1位

呉竹正人 1' 02" 8 3位

• 400m自由型

川原田 貢 4' 46" 9 1位

松野圭悟 5' 08" 5 3位

• 200m蝶泳

坂田純孝 2' 37" 2 1位

谷水利行 2' 55" 9 3位

• 200m背泳

吉田不二彦 2' 37" 5 1位

太田雅彦 2' 41" 1 2位

• 800mフリーリレー

金・浦野・呉竹・川原田

9'11"4 1位

総合

1位	神戸大	85点
2位	一橋大	49点
3位	大阪市立大	46点

「旧三商大戦」7月24日 於六甲台プール

第一試合

神大	Q	一橋大
2	I	4
2	II	1
2	III	2
4	IV	4
10	計	11

メンバー

- 長崎真人
- 長谷川泰造
- 吉岡宏之 (2)
- 谷水利行
- 金一波 (1)
- 浦野敏明 (4)
- 太田雅彦 (2)
- 高城俊介 (1)

第二試合

神大	Q	市大
3	I	1
1	II	0
2	III	0
3	IV	1
9	計	2

メンバー

- 長崎真人
- 長谷川泰造 (1)
- 吉岡宏之 (1)
- 谷水利行 (1)
- 金一波
- 浦野敏明 (1)
- 太田雅彦 (3)
- 高城俊介 (2)

—— 奇跡の逆転！ 関西インカレ1部残留 ——

関西国公立戦に優勝した我々神大水泳部は国公立大学の雄としての誇りと意地をかけて、新幹部の下で関西インカレ一部残留をめざした。

だが関西の私学の壁は厚く、大商大、大府大、神大の3校のうちから2校が二部落ちするのは必至となった。2日目を終わって大商大が200個メであげた4点、大府大が200背であげた3点、そ

して我神大は400継、400混継であげた2点のみ。しかし、個人、リレーともにベストタイムが競出し、チームのムードは明るく何とかいけそうな感じはしていた。そして3日目、400個メで大府大が2点、大商大が1点をあげた。その差3点、神大を一時暗雲が襲う。が、それを吹き飛ばすかのように100自において1回生川原田が見事な泳ぎを見せ、堂々5位入賞。800継泳に最後の望みをつないだ。稲妻が走り、雷鳴が鳴り響く中、800継泳が始った。第4泳者に引き継がれた時、大府大は大きく遅れていたものの、大商大は逆に5m余のリード、しかし皆の応援が通じたのか、アンカー川原田がタッチの差で大商大を逆転し6位入賞。この瞬間団体も6位入賞し、一部残留が決定したのだった。真に全員でもぎとった6位入賞だった。

女子も部員の少なさというハンデを克服し、二部で京教大に続き2位、一部昇格が決定した。男女共に全国国公立戦に向けて明るい材料となった。(長崎 記)

「関西インカレ」 8月5日(木) 6日(金) 7日(土) 於 橿原市運動公園総合プール (50m)

• 400m自由型

久保田 勝己	4'46"61	
松野 圭悟	5'09"22	
黒川 良介	6'25"92	

• 200m薬泳

坂田 純孝	2'30"30	8位
吉岡 宏之	2'39"72	
谷水利行	2'53"7	

• 200m背泳

太田 雅彦	2'40"64	
吉田 不二彦	2'43"65	
野村 俊彰	3'01"37	

• 100m平泳

長崎 真人	1'14"48	
山野 和則	1'18"70	
長谷川 泰造	1'23"34	

• 400mフリーリレー

吉田・久保田・金・川原田	3'59"97	6位
--------------	---------	----

• 1500m自由型

久保田 勝己	19'16"17
浦野 敏明	20'08"31
松野 圭悟	20'36"33

• 200m個人メドレー

鈴木 利一	3'05"24
松居 敦史	3'25"89
舛井 明寿	3'28"54

• 100m薬泳

吉岡 宏之	1'05"81
谷水利行	1'12"04
池田 裕二	1'28"00

• 200m自由型

川原田 貢	2'10"27
金 一波	2'17"71
呉竹 正人	2'22"58

• 400mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・川原田	4'26"77	6位
--------------	---------	----

• 400m個人メドレー

浦野敏明	5'42"12	
南谷昌宏	6'22"30	
野村俊彰	6'32"20	

• 1000m自由型

川原田 貢	57"85	5位
金 一波	59"16	7位
土井健治	1'17"00	

• 1000m背泳

坂田純孝	1'09"63	
吉田不二彦	1'11"86	
太田雅彦	1'12"01	

• 200m平泳

長崎真人	2'41"77	8位
------	---------	----

[女子]

• 100m平泳

川島 えみこ	1'35"69	3位
園本温代	1'36"07	4位

• 200m蝶泳

坂東美枝	2'45"72	1位
------	---------	----

• 200m背泳

石本日和子	3'34"01	4位
-------	---------	----

• 200mフリーリレー

石本・木村・川島・坂東	2'19"55	2位
-------------	---------	----

• 800m自由型

越智順子	16'01"03	3位
------	----------	----

山野和則 2'52"63

南谷昌宏 2'56"82

• 800mフリーリレー

浦野・金・久保田・川原田	8'57"29	6位
--------------	---------	----

総合

1位	同志社大	108点
2位	近畿大	70点
3位	天理大	62点
4位	関西大	38点
5位	大阪体育大	37点
6位	神戸大	} 5点
	大阪商大	
	大阪府大	

• 100m蝶泳

坂東美枝	1'15"53	1位
木村典子	1'36"02	5位

• 400mメドレーリレー

石本・川島・坂東・木村	5'40"06	1位
-------------	---------	----

• 400m個人メドレー

木村典子	7'04"14	2位
越智順子	8'13"68	3位

• 100m背泳

石本日和子	1'34"19	2位
-------	---------	----

• 200m平泳

川島 えみこ	3'16"83	1位
--------	---------	----

国本温代 3'44"08 4位

• 400mフリーリレー

木村・石本・川島・坂東

5'07"82 2位

総合

1位 大阪教育大 72点

2位 神戸大 68点

3位 奈良女子大 45点

——— 遂にやった！ 全国国公立戦 2位入賞 ———

先週の関西インカレで一部残留を果たした神大水泳部は、勢いにのり自信を持って全国国公立戦に臨んだ。

ほぼ全員が、それも関西インカレのタイムをさらに上まわるベストを続々と出した。雰囲気は最高に盛り上がり、個人入賞者も昨年の2人から5人に増え、リレー種目は全て神大新を出した上2位入賞。400混継に至っては3位広島大とわずか0.29秒差ながらも気力の勝利を修めた。個人的には、100自で58秒台を出し最後の大会で5位入賞を果たした金前主将と、ラスト・チャンスで日本学生選手権出場を決めた200平の長崎主将の新旧主将が気をはいた他、川原田の100自、200自2位、坂田200背執念の6位、交通事故で出場も危ぶまれた久保田が、400自、1500自で入賞し、優勝した筑波大には大きく離されたものの、あっけない程簡単に念願の全国国公立戦2位を果たした。これにより、来年度のシード権も手に入れたのである。

女子では坂東が200標で大会新を出しながら惜くも2位、200個メでは大接戦の末6位と意地を見せたが、いかんせん、部員数の少なさのため団体での入賞は果せなかった。4回生の女子が抜ける来年度、女子の新入部員の確保が早急に望まれる。
(長崎 記)

「全国国公立戦」8月13日(金) 14日(土) 於 大阪扇町プール(50m)

[男子]

• 1500m自由型

久保田 勝己 19'09"73 5位

松野 圭悟 20'31"41

• 400m個人メドレー

浦野 敏明 5'43"30 9位

太田 雅彦 6'02"50

野村 俊彰 6'17"61

• 200m自由型

川原田 貢 2'09"05 3位

呉 竹 正 人 2'23"47

金 一 波 2'58"86

• 200m標 泳

吉 岡 宏 之 2'39"49

谷 水 利 行 2'49"60

松 居 敦 史 4'08"84 失格

• 200m背 泳

坂 田 純 孝 2'32"20 6位

吉 田 不 二 彦 2'42"36

黒 川 良 介 3'09"02

- 200m平泳
長崎真人 2'41"75 4位
山野和則 2'50"17
南谷昌宏 2'52"95

- 400mフリーリレー
吉田・久保田・金・川原田
4'02"65 2位

- 400mメドレーリレー
坂田・長崎・吉岡・川原田
4'26"34 2位

- 200m個人メドレー
浦野敏明 2'41"22
鈴木利一 3'12"38
土井健治 3'45"99 失格

- 400m自由型
久保田勝己 4'43"58 4位
松野圭悟 5'05"49
池田裕二 5'55"70

- 100m蝶泳
吉岡宏之 1'06"39
谷水利行 1'12"38
野村俊彰 1'19"90

[女子]

- 400mメドレーリレー
石本・川島・坂東・木村
5'50"49

- 200m自由型
木村典子 2'57"84
石本日和子 3'09"36

- 100m背泳
坂田純孝 1'08"84
太田雅彦 1'12"54
吉田不二彦 1'12"66

- 100m平泳
長崎真人 1'14"13
山野和則 1'18"10
長谷川泰造 1'23"09

- 800mフリーリレー
浦野・久保田・金・川原田
8'58"71 2位

- 100m自由型
川原田 貢 58"18 2位
金 一波 58"96 5位
呉竹正人 1'03"26

— 総合 —

- | | | |
|----|-------|------|
| 1位 | 筑波大 | 122点 |
| 2位 | 神戸大 | 35点 |
| 3位 | 広島大 | 25点 |
| 4位 | 大阪府大 | 23点 |
| 5位 | 愛知教育大 | 22点 |
| 6位 | 熊本大 | 12点 |

- 200m蝶泳
坂東美枝 2'44"77 2位 大会新

- 200m背泳
越智順子 3'50"49

• 200m平泳

川島 えみこ 3'16"61

• 200m個人メドレー

坂東 美枝 2'54"51 6位

• 100m自由型

木村 典子 1'16"79

石本 日和子 1'17"79

越智 順子 1'35"39

• 100m平泳

川島 えみこ 1'36"39

• 400mフリーリレー

木村・川島・石本・坂東
5'15"97

— 総合 —

1位 筑波大 117点

2位 東京芸大 51点

3位 名古屋大 33点

——— 圧倒的強さを見せつけた近国体V2 ———

疲れがたまっていたせい、あるいは緊張感が薄れていたせい、タイムの伸びない者が多かったが、悪ければ悪いなりに勝つレースをしようという方針で臨み、合計10種目で優勝し、全種目でまんべんなく得点し、100自に至っては、川原田、金、呉竹と3人が入賞するという圧倒的強さを見せつけた。個人的には、吉岡が、100蝶、200蝶ともにベストを出し、100蝶は1-04-4の神大新ならびに大会新を出したことや、浦野が400個メで大接戦の末ベストを2秒も縮め優勝した泳ぎが光っている。ただ、リレー種目など、最初から優勝がほぼ確定していたため、応援にも熱が入らなかったことは反省すべきであろう。

女子も全員が得点するなどして、万遍無く得点を重ねたのだが、またしても京教大の層の厚さに涙を飲んだ試合だった。

(長崎 記)

「近国体」8月28日(土) 29日(日) 於 京大プール(50m)

〔男子〕

• 400mメドレーリレー

坂田・長崎・吉岡・川原田
4'29"9 1位 大会新

• 800m自由型

久保田 勝己 9'49"0 1位 大会新

松野 圭悟 10'38"0 5位

鈴木 利一 12'25"0

• 400m個人メドレー

浦野 敏明 5'33"7 1位

金 一波 6'27"7

• 100m蝶泳

吉岡 宏之 1'04"4 2位 大会新

谷 水利行 1'12"5 8位

野村 俊彰 1'19"8

• 200m自由型

川原田 貢 2'12"3 1位 大会新
 呉 竹 正 人 2'23"5 6位
 池 田 裕 二 2'39"7

• 100m背 泳

坂 田 純 孝 1'10"0 2位
 吉 田 不 二 彦 1'11"4 5位
 土 井 健 治 1'51"4

• 100m平 泳

長 崎 真 人 1'15"2 1位 大会新
 山 野 和 則 1'17"4 4位
 南 谷 昌 宏 1'21"6

• 200mフリーリレー

吉田・坂田・金・川原田
 1'47"0 1位

• 400m自由型

久保田 勝 己 4'42"6 1位
 松 野 圭 悟 5'05"5 5位
 舛 井 明 寿 6'37"2

• 200m個人メドレー

浦 野 敏 明 2'34"9 2位
 野 村 俊 彰 2'56"3

• 100m自由型

川原田 貢 58"5 1位

〔女子〕

• 200mメドレーリレー

越智・川島・坂東・木村
 2'38"5 2位

金 一 波 59"6 2位

呉 竹 正 人 1'03"6 6位

• 200m乗 泳

吉 岡 宏 之 2'36"3 3位
 谷 水 利 行 2'52"5 7位
 松 居 敦 史 4'04"8

• 200m背 泳

坂 田 純 孝 2'34"4 4位
 吉 田 不 二 彦 2'38"0 5位
 黒 川 良 介 3'15"4

• 200m平 泳

長 崎 真 人 2'43"1 1位 大会新
 山 野 和 則 2'50"6 3位
 南 谷 昌 宏 2'58"9

• 800mフリーリレー

呉竹・浦野・久保田・川原田
 9'13"1 1位 大会新

総合

1位	神戸大	114点
2位	京都大	58点
3位	大阪大	36点
4位	大阪教育大	31点
5位	京都教育大	} 19点
	奈良教育大	

• 200m個人メドレー

坂 東 美 枝 2'57"6 2位
 越 智 順 子 3'53"3 6位

• 100m 蝶泳
坂東美枝 1' 16" 3 2位

• 50m 自由型
石本日和子 33" 4 3位
木村典子 34" 3 4位

• 100m 平泳
川島えみこ 1' 34" 3 2位

• 200m フリーリレー
川島・坂東・石本・木村
2' 21" 3 2位

• 100m 自由型
木村典子 1' 15" 6 3位

• 50m 背泳
越智順子 46" 8 6位

• 200m 平泳
川島えみこ 3' 17" 9 2位

• 400m フリーリレー
木村・川島・石本・坂東
5' 13" 8 2位

総合		
1位	京都教育大	75点
2位	神戸大	48点
3位	大阪教育大	39点

「神京戦」8月30日 於京大プール

神大	Q	京大
3	I	0
2	II	0
1	III	0
1	IV	0
7	計	0

メンバー

1. 長崎真人
2. 久保田勝己
3. 野村俊彰
4. 吉田不二彦
5. 吉岡宏之 (1)
6. 浦野敏明 (2)
7. 谷水利行 (4)

全日本学生選手権大会に参加して

二回生 川原田 貢

全国インカレは、大学で水泳をする者として、一度は出てみたいあこがれの大会である。これに出場できた事は、非常に幸運であった。神大からは3名、練習にこられている方を含めると5名という多人数(?)で行けた事も恵まれていたと思う。私はただインカレに出場できただけで大満足であったが、同じ大学生が、照明に浮かび、母校のわれんばかりの応援をうけ、ひたむきにゴールをめざし泳ぎ、満場の拍手を受け、ガッツポーズを取る姿を目のあたりに見た時、体に言葉に表せ

ない感動が走った。この会場の中で行なわれているドラマの主演は、まぎれもなく私と同じ大学生なのだ。私はドラマの観客として、舞台の外であった。感激は疑問になった。同じ大学生!! 国立大学の学生であっても、彼達と同じ大学生であるのだ。国立大学であるという甘えを私自身持っていたのではないのか。自分が私学の通用しない事をその事で理由づけてきたのではないだろうか……。

しかしながらこれはあくまで私個人の感想であり、神大から参加した人がすべてこのように思ったわけではないだろう。(あたりまえだが)しかし全日本選手権大会は各個人に必ず何かを与えると思う。必ず人を感動させると思う。そういう点で今年は5人であったが来年は部員全員で行ければ最高である。又私にとって初めての参加であった今大会は色々な面で生涯忘れられない大会となるだろう。

「日本学生選手権大会」9月3～5日 於 名古屋市瑞穂プール(50m)

〔男子〕

• 100m自由型

川原田 貢 58"0

• 200m自由型

川原田 貢 2'10"4

• 200m平泳

長崎 真人 2'43"9

〔女子〕

• 100mバタフライ

坂東美枝 1'18"8

• 200mバタフライ

坂東美枝 2'54"2

——— 一方的な勝利に終わった関ポロ Jr ———

各校とも4回生の抜けた穴の大きさに気付かされた試合であったのではないだろうか。

先に神京戦で7対0と京大を完封した新チームはまず第一試合で大市大と対戦し攻めては吉岡の9得点など計23点をいれ、守ってはペナルティー・シュートによる1点におさえ完勝した。決勝でも吉岡、浦野のシュートはさえ、谷水の好アシスト、バックスの久保田、野村、吉田らの活躍、さらには日体大ばりの応援により京大を8対2におさえ、優勝をものにした。大市大、京大ともに泳力のなさが目立った試合だった。来年こそは関ポロ制覇を果すために、今後ハンドリングと脚力の強化、そして第3、4Qまでもつ体力を養成していく必要があるだろう。(長崎 記)

「関ポロ Jr 戦」 9月6日 於市大プール

第一試合

神大	Q	市大
7	I	0
7	II	0
4	III	1
5	IV	0
23	計	1

メンバー

1. 長崎 真人
2. 久保田 勝己 (2)
3. 野村 俊彰
4. 吉田 不二彦 (3)
5. 吉岡 宏之 (9)
6. 浦野 敏明 (4)
7. 谷 水利 行 (5)
8. 坂田 純孝
9. 川原田 貢

第二試合

神大	Q	京大
4	I	1
2	II	0
1	III	1
1	IV	0
8	計	2

メンバー

1. 長崎 真人
2. 久保田 勝己 (1)
3. 野村 俊彰 (1)
4. 吉田 不二彦 (1)
5. 吉岡 宏之 (4)
6. 浦野 敏明 (1)
7. 谷 水利 行
8. 坂田 純孝

今、寒風吹きすさぶ六甲台プールに立ち、昨シーズンを振り返ってみると輝かしい戦跡の数々が思いだされる。神大水泳部の実力は本物なのか、それとも単なるフロックに過ぎないのか。その答えは今シーズンの我々の戦跡にかかっている。そして皆で神大水泳部の栄光を作り出そうではないか。

(長崎 記)

昭和57年度行事報告

昭和57年

- 4 / 5 (月) ~ 4 / 10 (土) 春期合宿(鳥取県浜村温泉)
- 4 / 18 (日) 兵庫県室内選手権(かるもP)
- 5 / 14 (金) 新入生歓迎コンパ(六甲台生協)
- 5 / 23 (日) 凌泳總會
- 6 / 6 (日) 京阪神三大学戦(堺臨海P)
- 6 / 14 (月) ~ 6 / 17 (木) 強化練習
- 6 / 18 (金) ~ 6 / 23 (水) 夏期合宿
- 6 / 27 (日) 関西学生水球リーグ戦(大市大)
- 7 / 4 (日) 兵庫インカレ(西代P)
- 7 / 10 (土) ~ 7 / 11 (日) 関西国公立戦(京都大)
- 7 / 14 (水) ~ 7 / 16 (金) ポロ合宿
- 7 / 18 (日) 市大戦(大市大)
- 7 / 24 (土) ~ 7 / 25 (日) 三商大戦50周年記念大会(六甲台)
- 8 / 5 (木) ~ 8 / 7 (土) 関西インカレ(奈良県橿原P)
- 8 / 13 (金) ~ 8 / 14 (土) 全国国公立戦(大阪P)
- 8 / 23 (月) 神大オープン(六甲台)
- 8 / 28 (土) ~ 8 / 29 (日) 近国体(京都大)
- 8 / 30 (月) 京阪神三大学Jr戦, 神京戦(京都大)
- 9 / 3 (金) ~ 9 / 5 (日) 日本学生選手権(名古屋市瑞穂P)
- 9 / 6 (月) 関西学生水球リーグJr戦(大市大)
- 9 / 15 (水) 月見の宴

歴代 10 傑表 (男子)

(L) は長水路, (S) は短水路, 無記入はデータ不明
尚, リレー種目は長水路記録に限らせていただきました。

○ 100 m 自由型

1	川原田 貢	57-1 (S)	S.57
		57-8 (L)	S.57
2	金 一波	58-6 (S)	S.56
		58-9 (L)	S.56
3	浜川 広海	58-8	S.26
		58-8 (S)	S.53
5	久保田勝己	1-00-2 (S)	S.56
6	村田 邦夫	1-00-7 (S)	S.51
		1-01-9 (L)	S.51
7	吉田不二彦	1-01-1 (S)	S.57
8	富岡 洋三	1-01-5 (S)	S.56
9	山本 隆	1-01-7 (L)	S.54
10	浦野 敏明	1-01-7 (S)	S.56

○ 400 m 自由型

1	久保田勝己	4-38-0 (S)	S.55
		4-42-0 (L)	S.55
2	川原田 貢	4-46-9 (S)	S.57
3	上田 剛弘	4-54-3 (S)	S.55
		5-02-8 (L)	S.55
4	山本 隆	4-55-1 (L)	S.53
5	杉山 和弘	4-55-2 (S)	S.52
6	金 一波	4-57-0 (S)	S.56
7	丸末 一之	5-01-5 (S)	S.51
8	松野 圭悟	5-03-4 (S)	S.57
9	浦野 敏明	5-05-5 (S)	S.57
10	酒井 康司	5-06-6 (L)	S.56

○ 200 m 自由型

1	川原田 貢	2-09-0 (L)	S.57
		2-09-0	S.26
3	久保田勝己	2-10-9 (S)	S.55
4	金 一波	2-13-8 (S)	S.57
		2-16-5 (L)	S.56
5	杉山 和弘	2-14-0 (S)	S.52
6	浦野 敏明	2-16-2 (S)	S.57
7	山本 隆	2-17-0 (S)	S.52
8	上田 剛弘	2-17-1 (S)	S.55
9	村田 邦夫	2-17-5 (S)	S.51
10	吉田不二彦	2-17-8 (S)	S.56

○ 800 m 自由型

1	久保田勝己	9-47-4 (S)	S.56
		9-59-2 (L)	S.56
2	山本 隆	10-22-1 (S)	S.53
3	上田 剛弘	10-26-4 (S)	S.51
4	浦野 敏明	10-33-2 (L)	S.57
5	丸末 一之	10-36-3	S.51
6	松野 圭悟	10-38-0 (L)	S.57
7	酒井 康司	10-40-5 (S)	S.55
		11-00-7 (L)	S.55
8	杉山 和弘	10-46-1 (S)	S.52
9	大林 良和	10-48-4 (S)	S.49
10	藤幸 弘樹	10-52-6 (S)	

○ 1500m自由型

1	久保田勝己	18-43-7(L)	S.57
2	浦野 敏明	20-08-3(L)	S.57
3	松野 圭悟	20-31-4(L)	S.57
4	上田 剛弘	20-40-0(L)	S.55
5	酒井 康司	20-55-0(L)	S.55

○ 100m背泳

1	杉山 和弘	1-07-7(S)	S.53
		1-08-4(L)	S.53
2	坂田 純孝	1-08-8(L)	S.57
3	吉田不二彦	1-10-5(L)	S.56
4	太田 雅彦	1-10-9(S)	S.56
5	田淵 五郎	1-11-8(S)	S.27
6	酒井 正人	1-12-5(S)	S.51
		1-13-6(L)	S.52
7	木村多加緒	1-12-7(S)	S.43
		1-13-9(L)	S.43
8	川原田 貢	1-13-1(S)	S.57
9	井上 隆史	1-14-0	S.36
10	玉木喜代明	1-14-6(S)	S.44

○ 100m蝶泳

1	吉岡 宏之	1-04-4(L)	S.57
2	佐敷 定雄	1-05-2(S)	S.46
		1-06-2(L)	S.46
3	冨岡 洋三	1-07-0(S)	S.56
4	山本 隆	1-07-4(S)	S.54
		1-08-4(L)	S.53
5	坂田 純孝	1-07-6(S)	S.56
6	大橋 進	1-09-1(S)	S.44
7	久保田勝己	1-09-3(L)	S.55
8	杉山 和弘	1-09-6(S)	S.52
9	阿部 洋三	1-10-0(L)	S.41
10	谷水 利行	1-10-1(S)	S.57

● 200m背泳

1	坂田 純孝	2-30-4(S)	S.56
2	杉山 和弘	2-34-1(S)	S.54
		2-34-2(L)	S.53
3	木村多加緒	2-34-8(S)	S.43
		2-37-0(L)	S.43
4	酒井 正人	2-35-2(S)	S.52
5	吉田不二彦	2-35-5(L)	S.56
6	太田 雅彦	2-40-7(L)	S.56
7	玉木喜代明	2-43-6(S)	S.43
8	慈幸 弘樹	2-46-5(L)	S.53
9	松野 圭悟	2-46-7(S)	S.56
10	酒井 康司	2-47-0(S)	S.56

○ 200m蝶泳

1	佐敷 定雄	2-29-6	S.48
2	坂田 純孝	2-30-3(L)	S.57
3	吉岡 宏之	2-34-0(S)	S.57
		2-36-3(L)	S.57
4	山本 隆	2-35-2(S)	S.53
		2-36-9(L)	S.53
5	浦野 敏明	2-35-6(L)	S.56
	久保田勝己	2-35-6(S)	S.55
7	阿部 洋三	2-40-1(L)	S.41
8	冨岡 洋三	2-46-2(S)	S.56
9	谷水 利行	2-47-0(S)	S.55
10	大橋 進	2-48-1(S)	S.43

○ 100 m 平泳

1	長崎 真人	1-13-6 (S)	S.57
		1-14-1 (L)	S.57
2	鈴木 俊彦	1-14-3 (S)	S.42
		1-14-7 (L)	S.42
3	慈幸 弘樹	1-15-3 (S)	S.53
		1-16-8 (L)	S.53
4	池辺 正雄	1-16-5 (L)	S.56
5	山野 和則	1-17-1 (S)	S.55
		1-17-2 (L)	S.57
6	冨岡 洋三	1-17-4 (S)	S.55
		1-18-5 (L)	S.53
7	平石 康	1-17-4 (S)	S.51
		1-19-1 (L)	S.52
8	浦野 敏明	1-18-1 (S)	S.57
9	南谷 昌宏	1-18-8 (S)	S.57
10	菊田 修三	1-19-0	S.44

○ 200 m 個人メドレー

1	慈幸 弘樹	2-33-0 (S)	S.52
		2-35-6 (L)	S.53
2	坂田 純孝	2-34-1 (L)	S.56
3	冨岡 洋三	2-34-2 (S)	S.56
		2-35-2 (L)	S.55
4	浦野 敏明	2-34-9 (L)	S.57
	吉岡 宏之	2-34-9 (S)	S.57
		2-36-7 (L)	S.55
6	久保田勝己	2-36-0 (S)	S.57
7	平石 康	2-39-0 (S)	S.52
8	山本 隆	2-39-1 (L)	S.54
9	鈴木 俊彦	2-40-5 (L)	S.42
10	芝 暢彦	2-40-8 (L)	S.54

○ 200 m 平泳

1	長崎 真人	2-41-3 (L)	S.57
2	平石 康	2-45-3 (S)	S.52
3	鈴木 俊彦	2-45-5	S.43
4	慈幸 弘樹	2-49-2 (S)	S.53
		2-52-5 (L)	S.53
5	山野 和則	2-50-0 (S)	S.57
		2-50-1 (L)	S.57
6	浦野 敏明	2-51-5 (S)	S.56
7	冨岡 洋三	2-51-9 (L)	S.53
8	南谷 昌宏	2-52-7 (L)	S.57
9	後藤 信人	2-55-0 (S)	S.52
10	阿部 洋三	2-55-5	S.39

○ 400 m 個人メドレー

1	山本 隆	5-25-9 (S)	S.53
		5-43-6 (L)	S.53
2	浦野 敏明	5-33-7 (L)	S.57
3	久保田勝己	5-38-4 (S)	S.55
4	坂田 純孝	5-40-7 (L)	S.57
5	吉岡 宏之	5-43-1 (L)	S.57
6	慈幸 弘樹	5-44-2 (S)	S.51
7	冨岡 洋三	5-45-2 (L)	S.55
8	芝 暢彦	5-52-8 (L)	S.54
9	平石 康	5-56-2	S.51
10	木村多加緒	5-58-2	S.43

○ 400 m 混懸

1	坂田・長崎・吉岡・川原田	4-26-3 (L)	S.57
2	坂田・長崎・吉岡・金	4-29-5 (L)	S.57
3	吉田・長崎・吉岡・川原田	4-32-2 (L)	S.57
4	坂田・池辺・吉岡・金	4-34-8 (L)	S.56
5	吉田・長崎・吉岡・金	4-36-2 (L)	S.56
6	太田・長崎・吉岡・金	4-37-1 (L)	S.56
7	杉山・富岡・山本・金	4-37-7 (L)	S.54
8	杉山・慈幸・山本・中尾	4-39-7 (L)	S.53
9	吉田・山野・坂田・呉竹	4-42-5 (L)	S.57
10	酒井・平石・杉山・村田	4-43-9 (L)	S.52

○ 400 m 懸泳

1	吉田・久保田・金・川原田	3-59-5 (L)	S.57
2	田中・金・杉山・山本	4-06-2 (L)	S.54
3	吉田・呉竹・久保田・金	4-06-5 (L)	S.56
4	金・久保田・田中・吉岡	4-06-7 (L)	S.55
5	田中・富岡・久保田・金	4-09-2 (L)	S.56
6	田中・上田・久保田・金	4-10-1 (L)	S.55
7	吉田・浦野・富岡・金	4-11-0 (L)	S.56
8	富岡・久保田・田中・金	4-11-3 (L)	S.55
9	中尾・慈幸・山本・杉山	4-13-0 (L)	S.53
10	村田・慈幸・平石・杉山	4-13-1 (L)	S.52

○ 800 m 懸泳

1	浦野・金・久保田・川原田	8-57-2 (L)	S.57
2	浦野・呉竹・川原田・久保田	9-15-0 (L)	S.57
3	坂田・浦野・金・久保田	9-16-6 (L)	S.56
4	久保田・酒井(康)・浦野・金	9-17-1 (L)	S.56
5	酒井(康)・呉竹・浦野・久保田	9-17-5 (L)	S.56
6	田中・金・上田・久保田	9-19-1 (L)	S.55
7	酒井(康)・呉竹・久保田・川原田	9-27-0 (L)	S.57
8	金・呉竹・浦野・久保田	9-27-2 (L)	S.56
9	酒井(康)・金・田中・久保田	9-32-0 (L)	S.55
10	中尾・慈幸・杉山・山本	9-33-0 (L)	S.53

女子 5 傑 表

○ 100 m 自由型

1	坂東 美枝	1-11-7 (S)	S.56
2	寺尾 紀子	1-13-6 (L)	S.54
3	石本日和子	1-14-7 (L)	S.56
4	有本 智恵	1-15-3	
5	木村 典子	1-15-6 (L)	S.57

○ 400 m 継泳

1	木村・石本・川島・坂東	5-07-8 (L)	S.57
2	小井戸・石本・清水・寺尾	5-10-9	S.54
3	石本・坂東・小井戸・寺尾	5-11-7 (L)	S.56
4	有本・清水・高木・浜西	5-12-6	S.51
5	清水・橋爪・辻・寺尾	5-22-6	S.53

○ 100 m 蝶泳

1	坂東 美枝	1-14-3 (S)	S.57
2	有本 智恵	1-25-6 (S)	S.52
3	石本日和子	1-26-6 (S)	S.55
4	辻 陽子	1-32-8	
5	木村 典子	1-36-0 (L)	S.57

○ 200 m 継泳

1	寺尾・小井戸・石本・坂東	2-14-3 (L)	S.56
2	浜西・清水・高林・有本	2-16-3	
3	清水・辻・有本・寺尾	2-18-0	S.53
4	坂東・石本・小井戸・川島	2-19-4 (L)	S.56
5	石本・木村・川島・坂東	2-19-5 (L)	S.57

○ 100 m 背泳

1	石本日和子	1-25-5 (S)	S.55
2	坂東 美枝	1-27-4 (S)	S.56
3	竹島 信子	1-27-9	
4	清水 万里	1-29-6	
5	浜西美智子	1-29-9	

○ 400 m 混継泳

1	石本・川島・坂東・木村	5-40-0 (L)	S.57
2	石本・国本・坂東・寺尾	5-41-0 (L)	S.56
3	石本・川島・坂東・小井戸	5-42-2	S.56
4	石本・国本・坂東・小井戸	5-49-5	S.56
5	清水・森田・辻・寺尾	6-00-7	S.53

○ 100 m 平泳

1	山田 玲子	1-30-3	
2	川島えみこ	1-32-0 (S)	S.56
3	国本 温代	1-33-1 (S)	
4	坂東 美枝	1-33-8 (S)	S.56
5	石本日和子	1-34-1 (S)	S.56

○ 200 m 混継泳

1	浜西・栗野・高木・有本	2-21-8	S.50
2	清水・森田・有本・寺尾	2-35-4	S.53
3	浜西・山田・有本・高木	2-35-5	S.50
4	石本・国本・坂東・小井戸	2-36-4 (L)	S.56
5	越智・川島・坂東・木村	2-38-5 (L)	S.57

○ 200 m 個人メドレー

1	坂東 美枝	2-54-5 (L)	S.56
2	石本日和子	3-07-5 (S)	S.56
3	清水 万里	3-09-7 (S)	S.52
4	寺尾 紀子	3-12-7 (S)	S.53
5	辻 陽子	3-18-4 (L)	

※ 桑本 万里 (T28) (旧姓 清水 万里)
長谷川美智子 (P25) (旧姓 浜西美智子)

昭和57年度決算報告（昭和58年3月31日現在）

（凌泳会）

収 入

凌泳会費	572,000
寄付	307,000
	<u>879,000</u>

会費納入者144名(可能者219名の66%)

支 出

「凌泳」発行費	235,700
交通・通信費	161,160
会合費	106,810
基金積立	20,000
旧三商大会援助	31,598
水泳部援助	323,732
	<u>879,000</u>

（全国凌泳会）

収 入

繰越金	52,120
57年度積立金	20,000
雑収入	1,206
	<u>73,326</u>

支 出

交通費	20,000
58年度繰越金	53,326
	<u>73,326</u>

（旧三商大50回記念大会）

収 入

大阪市立大より	390,400
一橋大より	400,000
神戸大負担金	360,000
神戸大広告料	180,000
Tシャツ売り上げ	185,000
凌泳会援助	31,598
	<u>1,546,998</u>

支 出

記念大会誌	342,000
プログラム代	26,000
カップ代	341,400
賞状代	12,000
Tシャツ製作費	165,000
パーティ費用	357,000
現役コンパ代	100,000
接待費	49,100
雑費	154,498
	<u>1,546,998</u>

（水泳部）

収 入

繰越金	137,790
部員負担	1,538,437
育友会援助	139,000
凌泳会援助	323,732
六甲祭収入	95,481
雑収入	1,482
	<u>2,235,922</u>

支 出

水連登録費	49,000
試合練習費	121,800
交通・通信費	90,846
燃料費	27,840
設備消費費	23,510
会合費	151,040
衛生費	9,700
合宿費	877,750
体育会費	333,000
57年度スポーツ傷害保険費	32,800
58 " "	21,420
六甲祭経費	134,000
交際費	17,900
雑費	90,345
繰越金	254,971
	<u>2,235,922</u>

昭和 58 年度 予算

(凌 泳 会)

収 入

凌 泳 会 費	6 8 0,0 0 0
寄 付	3 2 0,0 0 0
	1,0 0 0,0 0 0

(4,000 円 × 170 名)

支 出

「凌泳」発行費	3 0 0,0 0 0
交通・通信費	2 0 0,0 0 0
会 合 費	1 0 0,0 0 0
基 金 積 立	2 0,0 0 0
水 泳 部 援 助	3 8 0,0 0 0
	1,0 0 0,0 0 0

(全 国 凌 泳 会)

収 入

繰 越 金	5 3 3,3 2 6
5 8 年 度 積 立 金	2 0,0 0 0
	7 3 3,3 2 6

支 出

雑 費	1 0,0 0 0
5 9 年 度 繰 越 金	6 3 3,3 2 6
	7 3 3,3 2 6

(水 泳 部)

収 入

繰 越 金	2 5 4,9 7 1
部 員 負 担	8 0 0,0 0 0
育 友 会 援 助	1 5 0,0 0 0
凌 泳 会 援 助	3 8 0,0 0 0
	1,5 8 4,9 7 1

支 出

水 連 登 録 費	5 0,0 0 0
試 合 練 習 費	2 0 0,0 0 0
交 通 ・ 通 信 費	2 0 0,0 0 0
燃 料 費	3 0,0 0 0
会 合 費	1 5 0,0 0 0
合 宿 費	9 0 0,0 0 0
雑 費	5 4,9 7 1
	1,5 8 4,9 7 1

昭和57年度凌泳会費寄付金醸出者御芳名（昭和58年3月10日現在）

旧三商大50回大会開催にあたり凌泳会費とは別個に基金を集めさせて頂きました処、凌泳会費と基金を一纏に納入して下さったOB諸兄が多数おられましたので、ここでは凌泳会費+寄付金+カップ代の総額を掲載致しました。御了承下さい。

尚、57年度会費は4,000円、準会員は2,000円、それ以上の額またはそれに満たない額については寄付金とさせて頂きました。

御 芳 名	醸出額	御 芳 名	醸出額	御 芳 名	醸出額
山 田 幸 男	24,000	平 井 洋	10,000	関 山 道 雄	4,000
足 達 英 彦	3,000	尾 上 信 三	6,000	岡 沢 幹 夫	4,000
木 村 芳 男	4,000	岡 本 忠 男	2,000	田 淵 五 郎	12,000
北 条 貞 夫	10,000	木 村 京 一 郎	5,000	榑 原 修 造	15,000
三 吉 吉 郎	5,000	熊 野 泰 己	8,000	村 田 邦 夫	8,000
植 木 実 就	10,000	荻 野 茂 希	2,000	堂 本 直 正	6,000
小 山 賢 之 助	50,000	富 中 暁	9,000	増 井 幸 藏	4,000
草 野 嘉 一	10,000	山 本 開 作	10,000	丹 治 隆 一	5,000
山 田 常 雄	25,000	井 上 清	2,000	辻 村 亮 介	5,000
板 野 龜 八 郎	12,000	君 塚 英 男	8,000	橋 本 力	10,000
宮 本 伯 夫	38,000	湯 山 正 三	4,000	富 岡 道 雄	8,000
本 間 孝 之 助	4,000	稲 垣 信 夫	10,000	松 田 司 朗	14,000
糸 川 義 男	5,000	山 内 利 男	9,000	山 口 仁 郎	6,000
池 谷 俊 一	2,000	山 崎 健 吉	4,000	前 田 弘 義	5,000
小 池 三 郎	5,000	三 宅 林	5,000	前 田 宗 雄	5,000
野 村 弘	5,000	岡 庄 一 郎	9,000	細 田 忠 雄	8,000
伊 藤 英 二	5,000	小 西 信 次	6,000	岡 見 晴 児	8,000
以上会費免除者につき 全額寄付金扱い		牛 島 修	4,000	阿 部 雅	5,000
		中 崎 日 出 男	10,000	岡 村 司	6,000
福 永 拓 造	4,000	大 西 繁	30,000	北 村 敏	6,000
大 内 義 仁	4,000	佐 脇 鷹 平	4,000	栄 川 泰 介	4,000
中 村 市 治	5,000	北 野 誠 良	6,000	河 村 雅 彦	6,000
大 西 真 博	2,000	石 井 義 章	14,000	山 本 哲 弘	8,000
吉 野 栄	4,000	中 井 三 郎	4,000	谷 和 郎	4,000
森 芳 夫	6,000	浜 川 広 海	6,000	前 田 修	4,000
山 口 宗 樹	24,000	今 井 政 一	20,000	村 岡 英 樹	8,000
前 田 寿	4,000	前 原 俊 夫	8,000	黒 田 英 雄	4,000

御芳名	献出金	御芳名	献出金	御芳名	献出金
奥野吉矩	5,000	阿部洋三	8,000	松井玲子	7,000
原謙三	8,000	鈴木俊彦	5,000	平石康	10,000
上村久治	8,000	熊岡禎二	8,000	後藤信人	6,000
酒井孝栄	10,000	木内資雄	4,000	酒井正人	6,000
野田浩志	12,000	玉置明	8,000	塩浜英二	4,000
井上隆史	8,000	木村多加緒	4,000	阿部誠次	6,000
萩原武	9,000	菊田修三	4,000	平野揮雄	4,000
竹元忠彬	4,000	菱田徹	4,000	村田邦夫	8,000
岡田重義	6,000	井上与志男	6,000	大林良和	10,000
高岡保宏	8,000	井上史朗	8,000	杉山和弘	4,000
米田啓祐	6,000	以西吉一	6,000	館谷彰司	10,000
太田斎	5,000	得丸哲士	4,000	慈幸弘樹	6,000
浅間啓介	4,000	岩切博	8,000	土井祐二	10,000
丸山卓也	17,000	大橋進	5,000	桑本万里	10,000
荒井康之	8,000	芳川雄二	4,000	松本克江	4,000
鈴木剛弘	5,000	藤井元洋	2,000	上田剛弘	6,000
平岡昭朗	6,000	岡本優	5,000	森鼻隆夫	4,000
藤岡治男	6,000	佐敷定雄	6,000	土井和幸	7,000
林莊八郎	4,000	長谷川健	7,000	亀井尚之	4,000
武政英幸	13,000	印南修三	4,000	山本隆	6,000
鈴木正弥	4,000	植西勝	4,000	橋爪啓子	3,000
堤莊祐	4,000	家本博一	4,000	富岡洋三	2,000
北村義彦	4,000	瓜生誠二郎	10,000	後藤芳光	9,000
滝沢章三	8,000	藤森一男	14,000	白子靖則	10,000
丸山昱也	12,000	上田敏彦	4,000	辻陽子	6,000
石原敏三	4,000	細谷明夫	8,000	寺尾紀子	4,000
樋口周平	8,000	田淵耕	4,000	森田惠	6,000
宮本義勝	4,000	丸末一之	8,000	藤田弥門	2,000
宮部高博	8,000	佐藤弘之	5,000	中坪朋子	8,000
久保佑四郎	5,000	浦本幸二	6,000	合計	1,239,000

合計 1,239,000円 尙これは(凌泳会)総収入879,000と、(旧三商大50回記念大会)神戸
大負担金360,000との合計に相当します。

昭和一桁卒の先輩諸兄には、カップ新調に際し、金銭面その他多大の御協力を頂きましたことを
この場を借りて御礼申し上げます。

凌 泳 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第 1 条(名 称) 本会は凌泳会と称する。
- 第 2 条(事 務 所) 本会は事務所を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課気付「凌泳会」とする。
- 第 3 条(目 的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。
- 第 4 条(事 業) 本会は前条の目的を達成する為に左記の事業を行なう。
1. 会誌「凌泳」の発行
 2. 会員相互の連絡
 3. 定例総会及び各種の親睦会合
 4. 神戸大学水泳部発展の為に指導及び援助
 5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項
- 第 5 条(会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第 2 章 会 員

- 第 6 条(会 員) 本会の会員を分けて正会員、特別会員、準会員及び在学会員とする。
- 第 7 条(正 会 員) 正会員とは、次のものを云う。
国立神戸高等商業学校 国立神戸商業大学 神戸経済大学 神戸大学
以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。
- 第 8 条(特別会員) 特別会員とは次のものを云う。
1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者及び現在ある者。
 2. その他、総会の決議によって推薦した者。
- 第 9 条(準 会 員) 準会員とは前 2 条に該当する者以外のもので神戸大学水泳部と行動を共にし、その活動に協力した者の内、本人が入会を希望し且つ在学会員より推薦のあった者を云う。
- 第 10 条(在学会員) 在学会員とは次のものを云う。
現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者。
- 第 11 条(会 費) 正会員は会費として年額 4,000 円を当会へ納入する。但し卒業後 44 年を経過した者は会費を免除する。準会員は会費として正会員の半額を当会へ納入する。

第 3 章 役 員

- 第 12 条(役 員) 本会には左の役員を置く。
- | | |
|-------|-----|
| 会 長 | 1 名 |
| 副 会 長 | 2 名 |
| 監 事 | 若干名 |

幹事長	1名
本部幹事	若干名
支部幹事	若干名

- 第13条(改選) 役員の改選は総会の決議によって行なう。
- 第14条(任期) 役員の任期は1年とし再選を妨げない。
- 第15条(会長) 会長は本会を代表し且つ統轄する。
- 第16条(副会長) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。
- 第17条(監事) 監事は本会の会務及び会計を監査する。
- 第18条(幹事長及び本部幹事) 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し総括的会務の執行に当る。
- 第19条(支部幹事) 支部幹事は各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第4章 総 会

- 第20条(招集) 総会は少くとも2週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以って会長がこれを招集する。
- 第21条(時期) 総会は毎年5月に開催するものとし、臨時総会は必要に応じて招集する。
- 第22条(議決) 総会の決議は出席正会員の過半数をもって決する。但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

第5章 会 計

- 第23条(経理) 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。
- 第24条(決算) 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告しその承認を受ける。
- 第25条(期間) 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第6章 凌 泳 の 送 付

- 第26条 本会員で会費を3年間滞納した者には「凌泳」の送付を停止する。但し特別の事情が有る者(海外駐在員等)は除くものとする。

第7章 雑 則

- 第27条 本会則は昭和57年5月23日より発効する。

附記(退会者の取扱について)

昭和57年度総会において下記のとおり決定した。
 文書その他の方法で退会の意志を表明した者は退会を認める事とし、その事実を明確にする為、名簿の最後に退会者欄をもうける。

凌 泳 会 役 員 名 簿

会 長	小 山 賢之助(学1)		
副 会 長	山 口 宗 樹(学10)	吉 野 栄(学9)	
監 事	伊 藤 英 二(学7)	平 井 洋(学11)	
幹 事 長	石 井 義 章(学22)		
幹 事	井 上 与志男(J18)	佐 敷 定 雄(A22)	
会計担当幹事	長谷川 健(E22)		
凌泳編集幹事	堤 莊 祐(P12)		
支 部 幹 事			
〔関東〕	支部長	山 口 宗 樹(学10)	
		冨 岡 道 雄(B4)	井 上 隆 史(B10)
		樋 口 周 平(B14)	丸 末 一 之(E25)
〔中部〕	浅 間 啓 介(E10)		
〔中国〕	大 内 義 仁(学8)		
〔四国〕	中 村 市 治(学9)		
〔九州〕	印 藤 勝 美(学13)		
〔関西〕			
	京都	柳 本 正 雄(B10)	
	大阪	井 上 与志男(J18)	佐 敷 定 雄(A22)
	姫路	山 口 仁 郎(B5)	

物 故 会 員

氏 名	卒業年次	氏 名	卒業年次
藤 井 正 太 郎	特	川 西 武 雄	昭 7 高 2 6
多 田 德 雄	特	太 田 清	7 2 6
北 村 五 良	大 6 高 1 1	土 肥 駒 次 郎	7 2 6
小 笠 原 房 穂	1 0 1 5	鍵 本 芳 次	8 学 2
中 村 精 一	1 0 1 5	小 西 熊 雄	9 3
加 納 茂	1 1 1 6	片 山 四 郎	1 1 5
野 田 曾 一	1 1 1 6	栄 口 昌 二	1 2 6
岡 本 幸 一	1 2 1 7	村 上 秀 造	1 3 7
榊 原 零 一	1 2 1 7	高 橋 徹	1 3 7
山 村 馨	1 2 1 7	和 泉 真 弘	1 4 8
山 下 虎 蔵	1 3 1 8	松 木 勇	1 4 8
鈴 木 不 覇 雄	1 4 1 9	新 原 拓 夫	1 5 9
繁 益 繁 治 郎	1 4 1 9	部 坂 克 夫	1 6 1 0
古 林 喜 楽	1 4 1 9	恩 地 正 伍	1 6 1 0
三 輪 嘉 一 郎	1 5 2 0	鈴 木 啓 介	1 6 1 0
高 田 寿 三	1 5 2 0	井 上 正 平	1 1
大 谷 親 之 輔 旧姓(井関)	昭 2 2 1	柏 木 慶 三	1 6 1 1
大 島 勝 利	2 2 1	稲 垣 懋	1 6 1 1
中 村 毅	2 2 1	山 口 八 郎	1 7 1 2
浅 野 猛 雄	3 2 2	池 田 勲 治	1 8 1 3
田 川 亮 一	3 2 2	前 田 礼 之	1 9 1 4
阪 本 豊 一	3 2 2	伊 藤 一 郎	2 1 1 6
作 田 耕 三	3 2 2	衣 川 昭	2 4 専 1
東 光 武 三	4 2 3	中 島 功	2 8 新 1
尾 上 長 三 郎	4 2 3	今 井 彰	3 0 3

※ 尾上長三郎さんは昭和57年8月23日に亡くなられました。

商 神

1. 商神彩なす翅をあげて
靈杖遙に東を指せば
靈しき果実は雲間を漏りて
秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
淡河原の近きほとりに
かく伝わりし天のさとしも
人はさとらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし
靈果いかで地に朽つべき
豊栄のほる朝日のかげに
八州の外の潮風吹きて
いつしか催す氣運に乗じ
わが学校ぞ世に生まれたる
眠る商界夢さますべき
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰
連り亘る山ぶところに
数々の若鷹はぐくまれ居て
静かにうかぶ雲の行きか
朝妙なる琴のひびきは
敏馬の浜に松を吹く風
夕やさしき舞の姿は
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の
寄せてはかえす清き渚や
熱誠もゆる夏の盛りを
いたわる風の葺合の里
須磨や明石をかけて照るらん
月には物のあわれをぞ知る
冬は凜たる後に嵐
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は
偉人傑士を起たしむとかや
天の使命を胸に収めて
清き自然に抱かれながら
筋骨鍛え智徳を研く
切磋琢磨の三年の春秋
養い得たるうつ勃の意気
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金歌無欠の三千余年
かがやく光は劍の眷
心はおなじ大和男子の
我等は牙を執って起ちなん
日出ずる旗を高くかさして
日入らぬ国と手を携えて
目ざす平和の戦の場に
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時そとねぐら離れて
野に立出ずる蒼鷹幾羽
爪も研ぎぬ力も足りぬ
尋にも余るつばさを張れば
枝の百鳥皆おそれ伏す
扶揺万里の風を起して
おのが向々東に西に
雲に突き入る勢見るや

商 神

しゅうしん あやなす つほさをあげて
れいじゅう はるかに ひがしをさせば
くしき このみは くもまをもりて
あきつ— しまねに おつとぞ りえしと
こ—ろは ところき くすいか おるみ
つなどが わらのち かきほとりに
かくつ たわりし あめのさとしも
ひとけさとらで いくとせかへぬ

宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

ま や ろ っ こ う に い だ か れ て
 み ど り の そ の に は な ふ り か へ る
 こ こ お か の 一 べ の わ こ う ど が
 も ゆ る お も い を む ね に ひ め
 ま な ぶ や ゆ う ひ の と き を き し

三

燃ゆる紅葉たそがれて
 宵闇せまる山路を踏めば
 真理に挑む若鷹が
 ネオンの海を見おろして
 いよよ決意をかたむ哉

四

身に沁みわたる峯おろし
 冬来りなげ春近し
 巢立つ晴れの日時せまる
 翼ひろげて悠然と
 宇宙を股に羽ばたかん

一

摩耶六甲に抱かれて
 緑の園に花ふりかかる
 ここ丘の上の若人が
 燃ゆる思いを胸に秘め
 学ぶや雄飛の時を期し

二

ヒマラヤ杉を背に受けて
 茅渚の浦ゆ紀伊の山
 右手に四国よ淡路島
 左手にうかぶ金剛山
 大らかにぞ抱負わく

栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 敷島富四雄

作曲 黒田 浩一

編曲 土橋 康宏

たて や たて われらがえらばれ
しせんし ぼころのたかき ぼまれにかけ て た
だ めざす しょうりのかむり
ふるえいざ ふるえ ちからのかぎり かがやかんえい
ころは ー ね に われら ー に ー
ころべころべころべ われらがころべだいが ー く ゆけ

<p>三</p> <p>聞けや聞け われらが選ばれし戦士 青春の若き血潮たぎらせ 相和するかちどきの歌 振るえいざ振るえ意気いや高く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>三</p> <p>征けや征け われらが選ばれし戦士 若人の大い誇を秘めて 胸深く制覇の誓 振るえいざ振るえ雄々しく強く 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>	<p>一</p> <p>起てや起て われらが選ばれし戦士 母校の高き誓にかけて ただ目指す勝利の栄冠 振るえいざ振るえ力の限り 輝かん栄光は常にわれらに 神戸 神戸 神戸 われらが 神戸大学</p>
--	--	---

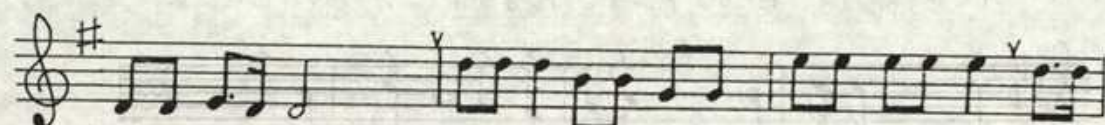
水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま や ろ っ こ う に い だ か れ て こ こ む こ が お か の
 2. フ リ ー プ レ ス ト バ タ フ ラ イ バ ッ ク リ レ ー に
 3. あ あ な つ か し の す い え い ぶ ろ っ こ う だ い の -



み ず き よ し ち め の う ら わ を み お ろ し て し ぶ
 ボ ロ ま で も ぬ り え い け ん じ の い き た か し い ざ
 プ ー ル べ に つ き み の え ん で - お よ ぎ や め く る



き (し ぶ き) を あ げ る け ん だ ー ん じ
 や (い ざ や) - き そ わ ん ろ で を - ぶ し
 な (く る な) つ ま っ て い き り - た つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し
 茅渚の浦曲を見下して
 しぶきをあげる健男子

二、フリープレスト バタフライ

バックリレーにボロまでも
 凌泳健児の意気高し
 いざや鼓わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に
 月見の宴で泳ぎ止め
 来る夏待っていきり立つ

編集後記

今年も兵庫インカレV4, 関西国公立大会優勝, 関西インカレ一部での入賞, 全国国公立大会優勝などの競泳面の目標の他, 水球で一橋大を打倒することなど, 大きな目標を掲げ部員一同ますますはりきっております。

さて本年度もようやく「競泳」を発行することができました。本年号は旧三商大50回大会の記念号として特集を組んだわけですが, OB諸兄にはその他多くの原稿をいただき, まことにありがとうございました。次号にもより多くの御寄稿をお願いいたします。

また, 本号の内容についてお気づきの点や, 特に住所不明OB諸兄の現住所をご存じの方はお知らせ下さい。

発行責任者 吉田 不二彦

昭和五十八年五月二〇日発行
発行所 神戸市灘区六甲台町二

凌 泳 会
神戸大学 水泳部

原稿等郵送宛先

〒六五七

神戸市灘区六甲台町二
神戸大学 水泳部

会費等振込口座

郵便振替口座番号

神戸 一二三三一

加入者名

神戸大学凌泳会

編集
印刷所

神戸大学水泳部凌泳編集係
神戸市東灘区住吉町垣内三

小野印刷株式会社
電話〇七〇八五一〇六〇一

